



令和2年度
事業概要
Business Overview

発行所

愛知県赤十字血液センター
〒489-8555 愛知県瀬戸市南山口町539-3
TEL 0561-84-1131
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>

JAPANESE RED CROSS AICHI BLOOD CENTER
539-3 Minamiyamaguchi-cho Seto, AICHI JAPAN zip489-8555

令和3年9月30日発行



本誌は、再生紙を使用しております。



日本赤十字社

愛知県赤十字血液センター

ごあいさつ



愛知県の血液事業につきましては、平素より県民の皆様をはじめ、愛知県、市町村、各献血協力団体および医療機関等の関係各位のご支援とご協力に対して厚く御礼申し上げます。この度、令和2年度の愛知県赤十字血液センターの事業概要を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

令和2年度の輸血用血液製剤の供給量については、全国動向が漸減傾向にある一方、愛知県赤十字血液センターでは血漿製剤が微増傾向にあり、医療機関への総供給単位数895,584単位と令和元年度と比較して3,502単位の増加となっております。

献血につきましては、愛知県内では延べ295,251人の方々にご協力をいただきました。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種イベントの中止、企業・団体における外部からの来訪者の制限やリモートワークの導入等により献血バスの会場が中止になるなど、大きな影響を受けました。そのような中、新型コロナウイルス感染拡大下にも関わらず、県民の皆様をはじめ多くの方々に献血にご協力いただき、輸血用血液製剤を安定して患者さんへお届けすることができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

血液を原料として製造されるアルブミン、免疫グロブリンなどの血漿分画製剤のうち、近年免疫グロブリン製剤の需要が増加しています。その原料となる血漿の必要量は、直近の5年で91万Lから120万Lと約1.3倍と大きく増加しました。その血漿分画製剤の国内自給に向けた原料血漿の確保は日本赤十字社の重要な責務と考えております。

今後、少子高齢化社会による献血可能人口の減少は確実と予測され、特に若年層の方々の献血へのご理解とご協力が不可欠となります。今後も安全な血液製剤を安定して患者さんへお届けするために、各献血協力団体などとともに献血の普及啓発活動に積極的に取り組んでまいります。特に将来の献血を担っていただける若年層の方々に対する献血啓発活動に注力し、小学生、中学生を対象としたオンラインによる血液センターの見学会や親子血液教室の開催など、新しい生活様式に合わせた献血啓発活動の充実を図り、若年層献血者の増加に努めてまいります。

愛知県赤十字血液センターでは、これからも新しい生活様式に合わせた安心安全な献血会場を運営して献血を推進するとともに、安全な血液を安定的に患者さんへお届けするように努めていく所存です。今後も皆様方のより一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年9月
愛知県赤十字血液センター
所長 木下 朝博



Contents 目次

Outline

01 概要

事業内容	Main Activities	3
血液事業のながれ	Flow of Blood Services	4
血液のゆくえ/血液製剤一覧	Flow of Blood Products / List of Blood Products	5
献血バス	Bloodmobile	7
献血ルーム	Blood Donation Room	8
施設	Facilities	9
供給業務	Distribution	11
広域需給体制に伴う 県境を越える供給	Supplying across prefectural boundaries due to wide-area supply and demand regime	12
医薬情報活動	Pharmaceutical information activities	13
骨髄バンク事業	Marrow Donor Program	14
広報活動	Public Relations	15

02 組織

Organization

組織機構図	Organization Chart	17
愛知県赤十字血液センター	Japanese Red Cross Aichi Blood Center	18
愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所	Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch	18

03 活動実績

Actual result

沿革	History	19
日誌	Diary	21
統計資料	Statistical Data	23
献血功労表彰	Recognition	27
複数回献血クラブ「ラブラッド」	Multiple blood donation club	29

04 全国の血液センター

Blood Centers in Japan

30

05 COVID-19

Special

令和2年度献血状況	Survey	31
献血バス会場内訳(稼働数)・ 中止会場数	Bloodmobile Donations and Canceled events	31
コロナ禍における 献血協力の呼びかけ	Asking for Donations	32
コロナ禍における対応	COVID-19 Safety Precautions	33

概要

日本赤十字社が取り組む血液事業において、献血を推進し、輸血用血液の安定確保と供給などを行い、人命尊重に向けて多様な事業を展開しています。

血液を通して、人と人とを結んでいます。

血液センターでは、現代医療に欠かせない輸血用血液製剤の供給をはじめ、血液に関するさまざまな事業を行っています。
血液を通して大切な命を守り、人と人とを結ぶ架け橋として日夜努めています。

事業内容 Main Activities

目的と基本理念
安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(抜粋)(令和2年9月1日改正)

総則(目的)

第一条 この法律は、血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進のために必要な措置を講ずるとともに、人の血液の利用の適正及び献血者等の保護を図るために必要な規制を行うことにより、国民の保健衛生の向上に資することを目的とする。

(基本理念)

- 第三条 血液製剤は、その原料である血液の特性にかんがみ、その安全性の向上に常に配慮して、製造され、供給され、又は使用されなければならない。
- 2 血液製剤は、国内自給(国内で使用される血液製剤が原則として国内で行われる献血により得られた血液を原料として製造されることをいう。以下同じ。)が確保されることを基本とするとともに、安定的に供給されるようにしなければならない。
- 3 血液製剤は、献血により得られる血液を原料とする貴重なものであること、及びその原料である血液の特性にかんがみ、適正に使用されなければならない。
- 4 国、地方公共団体その他の関係者は、この法律に基づく施策の策定及び実施に当たっては、公正の確保及び透明性の向上が図られるよう努めなければならない。

業務

日本赤十字社血液センター規則第3条2項により次の事業を行う。

- 1 献血者の確保及び献血の受入れ
- 2 血液製剤の供給
- 3 その他血液事業本部長が必要と認めた事業

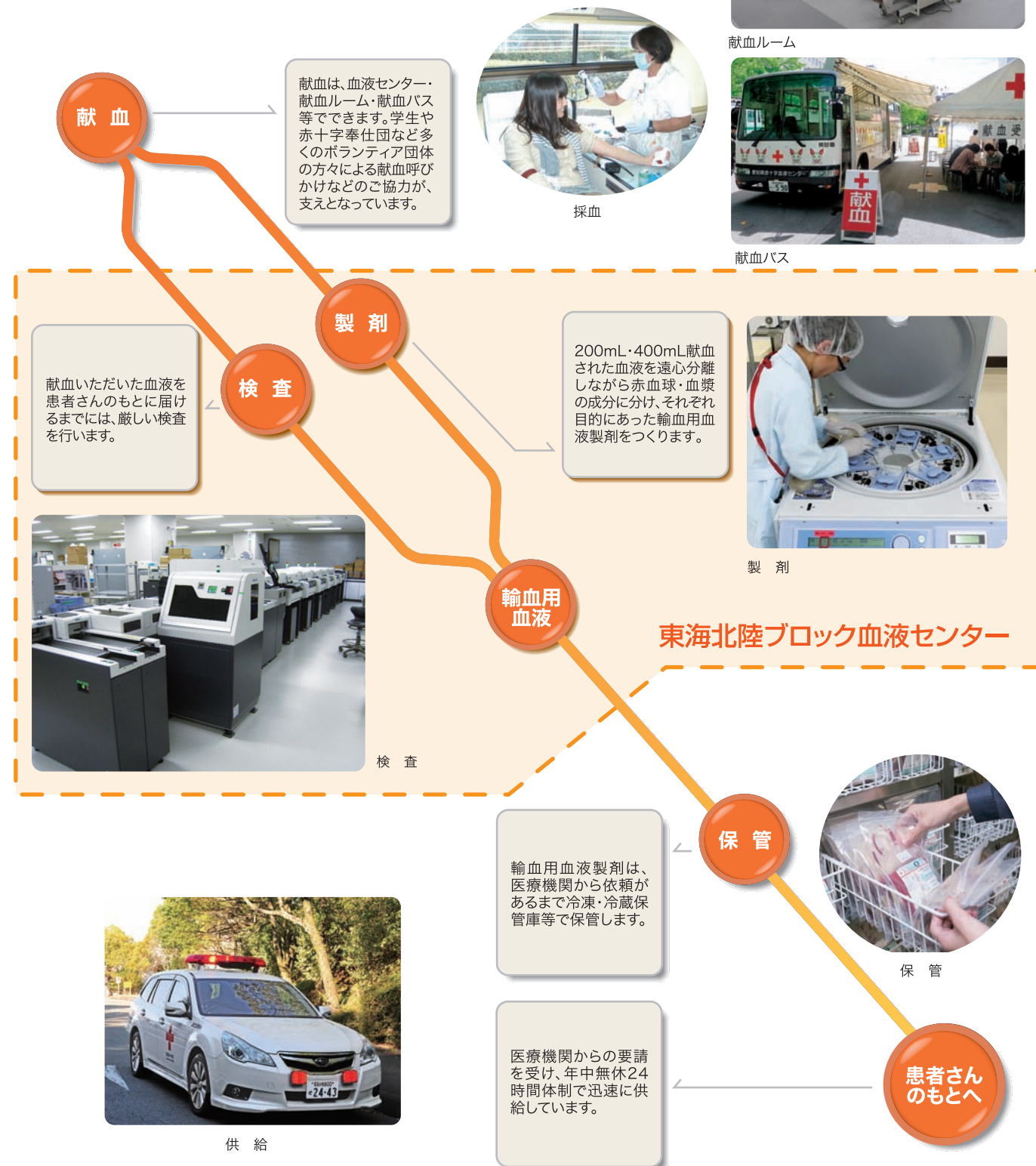
関連事業

- ・骨髄バンク事業
- ・さい帯血バンク事業

安全性の高い輸血用血液製剤の安定供給に向けて。

善意の献血で得られた血液は、厳しい検査をはじめいくつもの工程を経て、輸血用血液製剤として生まれ変わります。
私たちは、人命尊重のためにこの安全性の高い輸血用血液製剤を医療機関に安定供給することを心がけ、24時間体制で医療を支えています。

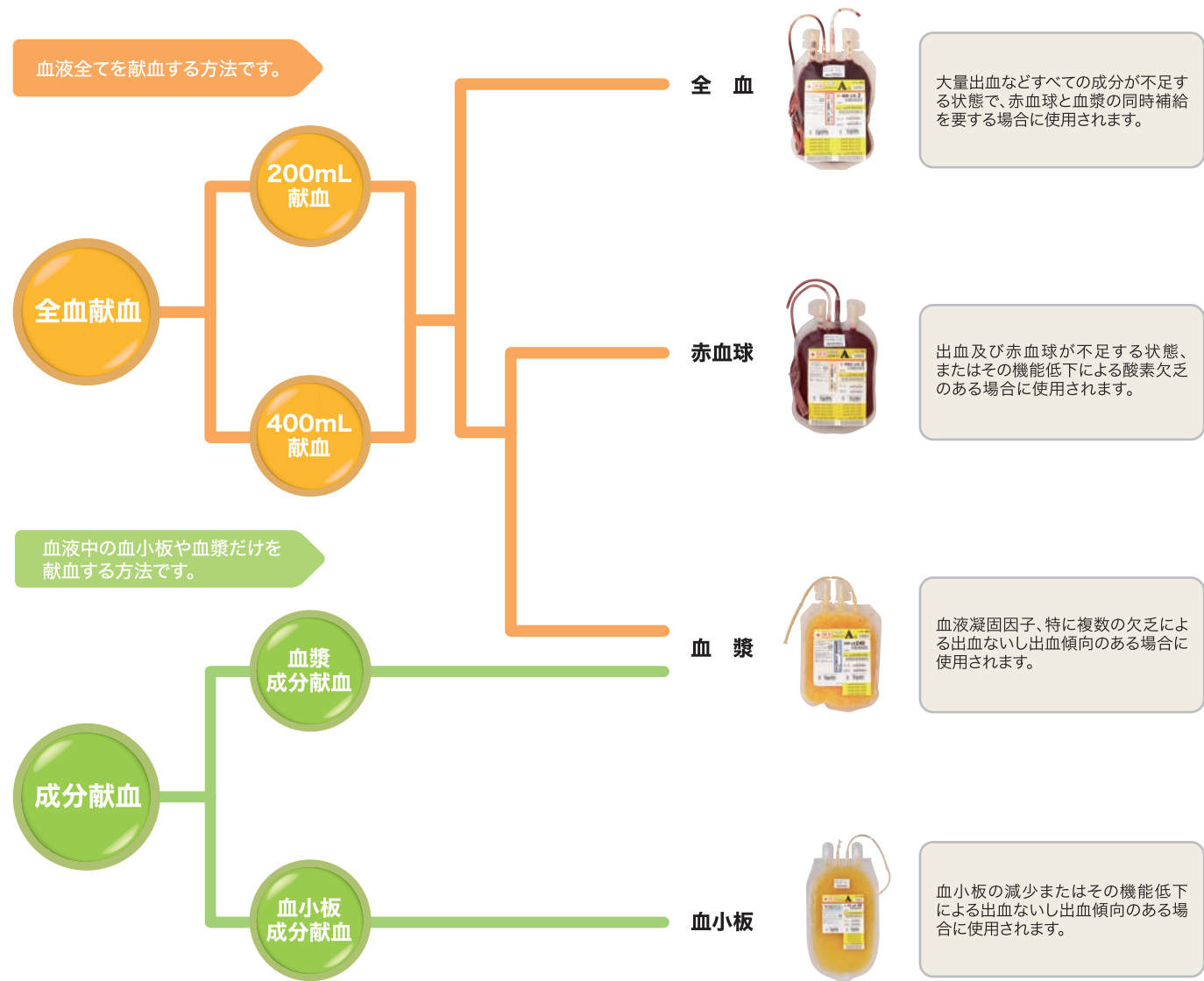
血液事業のながれ Flow of Blood Services



みなさまの善意に、よりお応えするために。

献血していただいた血液は、輸血用血液製剤【全血・血液成分（赤血球、血漿、血小板）】として医療に使われています。血液を必要としている患者さんにとって、安全性の高い血液を安定的にお届けするためには、健康なみなさまによる献血のご協力が必要です。

血液のゆくえ Flow of Blood Products



医療機関のニーズに合わせた血液製剤。

血液から作られる血液製剤は、輸血用血液として医療機関のニーズに合わせて、さらに細かく分類され、患者さんの生命を守っています。

血液製剤一覧 List of Blood Products

輸血用血液製剤

規制区分：特定生物由来製品、処方箋医薬品（医師等の処方せんにより使用すること） 採血国「日本」、採血方法「献血」

	販売名（一般名*1）	略号	効能又は効果	貯法	有効期間
全血製剤	人全血液-LR「日赤」*2 ◎（人全血液）	WB-LR	一般の輸血適応症に用いる。	2～6℃	採血後 21日間
	照射人全血液-LR「日赤」*2 ◎（人全血液）	Ir-WB-LR			
血液成分製剤	赤血球液-LR「日赤」*2 （人赤血球液）	RBC-LR	血中赤血球不足又はその機能廃絶に適する。	2～6℃	採血後 21日間
	照射赤血球液-LR「日赤」*2 （人赤血球液）	Ir-RBC-LR			
	洗浄赤血球液-LR「日赤」*2 （洗浄人赤血球浮遊液）	WRC-LR	貧血症又は血漿成分などによる副作用を避ける場合の輸血に用いる。	2～6℃	製造後 48時間
	照射洗浄赤血球液-LR「日赤」*2 （洗浄人赤血球浮遊液）	Ir-WRC-LR			
	解凍赤血球液-LR「日赤」*2 （解凍人赤血球濃厚液）	FTRC-LR	貧血又は赤血球の機能低下に用いる。	2～6℃	製造後 4日間
	照射解凍赤血球液-LR「日赤」*2 （解凍人赤血球濃厚液）	Ir-FTRC-LR			
	合成血液-LR「日赤」*2	BET-LR	ABO血液型不適合による新生児溶血性疾患に用いる。	2～6℃	製造後 48時間
	照射合成血液-LR「日赤」*2	Ir-BET-LR			
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」120*2 （新鮮凍結人血漿）	FFP-LR120	1.血液凝固因子の補充 (1)複合性凝固障害で、出血、出血傾向のある患者又は手術を行う患者 (2)血液凝固因子の減少症又は欠乏症における出血時で、特定の血液凝固因子製剤がないか又は血液凝固因子が特定できない場合	～20℃	採血後 1年間
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」240*2 （新鮮凍結人血漿）	FFP-LR240			
	新鮮凍結血漿-LR「日赤」480*2 （新鮮凍結人血漿）	FFP-LR-480			
血小板製剤	濃厚血小板-LR「日赤」*2 （人血小板濃厚液）	PC-LR	血小板減少症を伴う疾患に適応する。	20～24℃ 要・振とう	採血後 4日間
	照射濃厚血小板-LR「日赤」*2 （人血小板濃厚液）	Ir-PC-LR			
	濃厚血小板HLA-LR「日赤」*2 （人血小板濃厚液）	PC-HLA-LR	血小板減少症を伴う疾患で、抗HLA抗体を有するため通常の血小板製剤では効果がみられない場合に適応する。	20～24℃ 要・振とう	採血後 4日間
	照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」*2 （人血小板濃厚液）	Ir-PC-HLA-LR			
	照射洗浄血小板-LR「日赤」*2 （人血小板濃厚液）	Ir-WPC-LR	血小板減少症を伴う疾患に適応する。	20～24℃ 要・振とう	製造後 48時間 （ただし、 採血後 4日間を 越えない）
	照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」*2 （人血小板濃厚液）	Ir-WPC-HLA-LR	血小板減少症を伴う疾患で、抗HLA抗体を有するため通常の血小板製剤では効果がみられない場合に適応する。		

*1：人全血液の一般名は日本薬局方及び生物学的製剤基準収載名、それ以外の製剤の一般名は生物学的製剤基準収載名
*2：薬価基準収載名

ひとりでも多くの方のご協力をいただけるように。

愛知県内の様々な場所で献血バス・オープン献血を通じて、多くの方々に献血のお願いをしています。
また、駅周辺や商店街など、交通の便のよい場所に献血ルームを設け、献血いただく方が快適で、安心して献血が出来る環境を整えています。

献血バス Bloodmobile



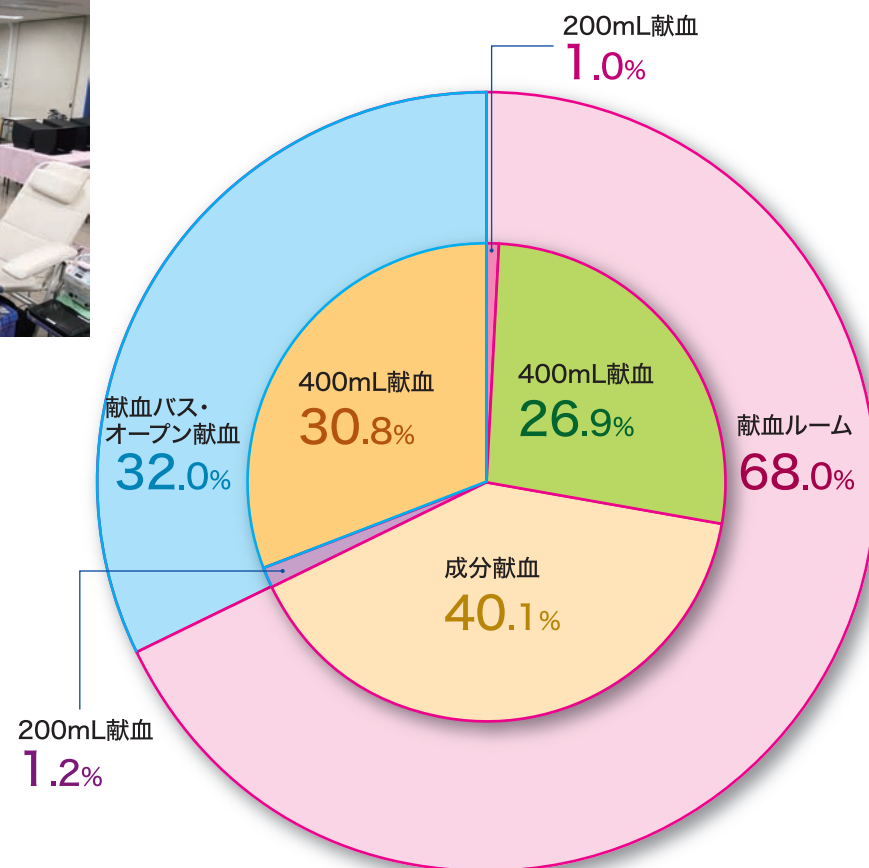
■献血バス

献血バスは愛知県赤十字血液センターに8台、豊橋事業所に3台あり、本年度は1日平均5.3台稼働しています。
また、献血にご協力いただいている団体の一部施設を利用して行う、オープン献血も実施しております。
献血バス1台に4ベッドありますが、オープン献血の場合は会場のスペースによって4～10ベッド設置して採血をします。

【令和2年度 献血実績】
献血バス 総稼働数
1,951 稼働(1日平均5.3稼働)
オープン献血 総稼働数
136 稼働
一台バス 平均献血者 **44**名
オープン献血 平均献血者 **58**名



■オープン献血



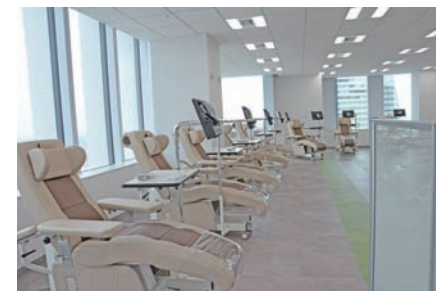
献血ルーム&献血バス・オープン献血の割合

献血ルーム Blood Donation Room

愛知県内には血液センターをはじめ豊橋事業所並びに6カ所の献血ルームがあります。献血ルームでは無料の自動販売機で飲料水を提供し、お菓子なども用意しております。



■受付(献血ルーム タワーズ20)



■採血室(献血ルーム ゲートタワー26)



■受付(栄献血ルーム)

施設別採血種別献血者数の推移

施設名		愛知県 赤十字 血液センター	豊橋事業所	献血ルーム タワーズ20	献血ルーム ゲートタワー 26	栄 献血ルーム	大須万松寺 献血ルーム	豊田 献血ルーム	岡崎 献血ルーム	移動 献血バス+ オープン献血	総合計
200mL	令和2年度	77	197	688	472	614	482	243	178	3,560	6,511
	令和元年度	59	103	654	395	600	508	321	132	4,738	7,510
	平成30年度	40	76	618	428	570	589	277	147	4,838	7,583
400mL	令和2年度	3,798	5,538	21,578	12,894	11,673	13,416	5,992	4,427	90,836	170,152
	令和元年度	2,916	3,701	22,777	12,285	11,340	13,823	5,362	3,460	95,103	170,767
	平成30年度	2,203	3,318	22,594	14,025	10,813	13,955	5,242	3,308	92,614	168,072
血漿	令和2年度	5,570	5,482	24,138	16,609	15,767	1,566	6,359	5,813	0	81,304
	令和元年度	3,979	3,863	23,594	14,474	14,860	1,596	5,873	5,505	0	73,744
	平成30年度	2,660	3,103	20,744	12,599	12,881	1,298	5,076	4,473	0	62,834
血小板	令和2年度	2,746	4,058	9,862	5,153	6,293	862	4,028	4,282	0	37,284
	令和元年度	2,332	3,631	9,870	4,131	5,927	697	3,899	3,610	0	34,097
	平成30年度	1,769	3,002	9,681	3,736	6,220	522	3,871	3,521	0	32,322
合 計	令和2年度	12,191	15,275	56,266	35,128	34,347	16,326	16,622	14,700	94,396	295,251
	令和元年度	9,286	11,298	56,895	31,285	32,727	16,624	15,455	12,707	99,841	286,118
	平成30年度	6,672	9,499	53,637	30,788	30,484	16,364	14,466	11,449	97,452	270,811

(人)

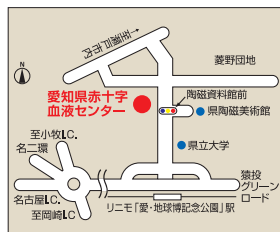
献血はお近くの施設でお気軽に。

愛知県内の献血施設8カ所は、どの施設も交通アクセス、周辺環境に恵まれています。
献血はあなたの街の最寄りの施設へお気軽にお越しください。最新の情報は、ホームページでご確認ください。

施設 Facilities (令和3年3月31日現在)

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539番地3
〈TEL〉0561(84)1131 〈定休日〉日曜日、祝日、12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…9:00～12:00、13:00～16:45
成分献血…9:00～11:00、13:00～16:00



栄献血ルーム
(栄出張所)

大須万松寺献血ルーム
(大須出張所)

献血ルーム Towers20
(名古屋駅前出張所)

献血ルーム ゲートタワー26
(名古屋駅前出張所)

愛知県赤十字血液センター

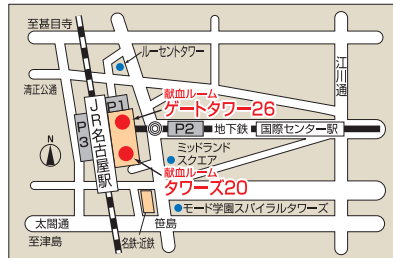
豊田献血ルーム
(豊田出張所)

岡崎献血ルーム
(岡崎出張所)

愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所

献血ルーム Towers20

〒450-6020 名古屋市中村区名駅一丁目1番4号 JRセントラルタワーズ20階
〈TEL〉052(571)1002 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～17:45
成分献血…10:00～17:00



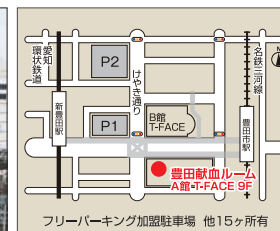
献血ルーム ゲートタワー26

〒450-6626 名古屋市中村区名駅一丁目1番3号 JRゲートタワー26階
〈TEL〉052(589)2229 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…11:00～18:45
成分献血…11:00～18:00



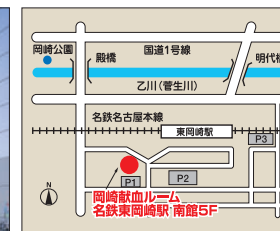
豊田献血ルーム

〒471-8520 豊田市若宮町1-57-1 A館 T-FACE 9F
〈TEL〉0565(35)4480 〈定休日〉火曜日、12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～13:00、14:00～17:45
成分献血…10:00～12:00、14:00～17:00



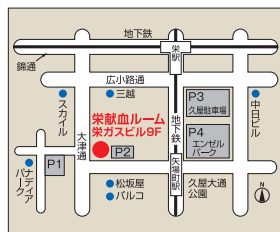
岡崎献血ルーム

〒444-0864 岡崎市明大寺町字寺東1-1 名鉄東岡崎駅南館 5F
〈TEL〉0564(52)1800 〈定休日〉金曜日、12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～13:00、14:00～17:45
成分献血…10:00～12:00、14:00～17:00



栄献血ルーム

〒460-0008 名古屋市中区栄3-15-33 栄ガスビル9F
〈TEL〉052(242)7030 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…10:00～17:45
成分献血…10:00～17:00



大須万松寺献血ルーム

〒460-0011 名古屋市中区大須3-30-40 万松寺ビル1F
〈TEL〉052(251)7161 〈定休日〉12/29～1/3
〈献血受付時間〉400mL・200mL献血…11:00～13:00、14:00～18:45
11:00～18:45(土・日・祝日)
成分献血(平日のみ)…11:00～12:00、14:00～18:00



令和2年度献血ルーム詳細情報

(令和3年3月末時点)

	ベッド数(床)	面積(m ²)	開設日
愛知県赤十字血液センター	6		S62.3
豊橋事業所	9		H2.3
献血ルーム Towers20	28	951.84	H23.10
献血ルーム ゲートタワー26	18	525.72	H29.4
栄献血ルーム	18	447	H2.6
大須万松寺献血ルーム	5	179.76	H18.10
豊田献血ルーム	10	246.095	H9.4
岡崎献血ルーム	9	263.56	H15.5

輸血用血液製剤の迅速な供給に努めています。

□ 供給業務 Distribution

24時間365日、医療機関からの要請に対し、迅速に輸血用血液製剤を供給し、患者さんの命を守っています。輸血用血液製剤の種類別・血液型別の過不足の調整、Rh(-)の血液型及びまれな血液型への対応について供給に支障をきたさないように調整しております。



①血液製剤の受注
24時間体制で医療機関から受注をしています。



③梱包作業
納品伝票と血液製剤の製造番号等の確認と血液製剤ごとの製品温度に適した状態で梱包します。



②血液製剤の出庫・外観確認
血液製剤に異常がないか最終チェックをします。



④配送
医療機関から「緊急」の要請があれば緊急走行で運びます。
令和2年度
緊急走行回数 **1,863回**(1日平均5回)

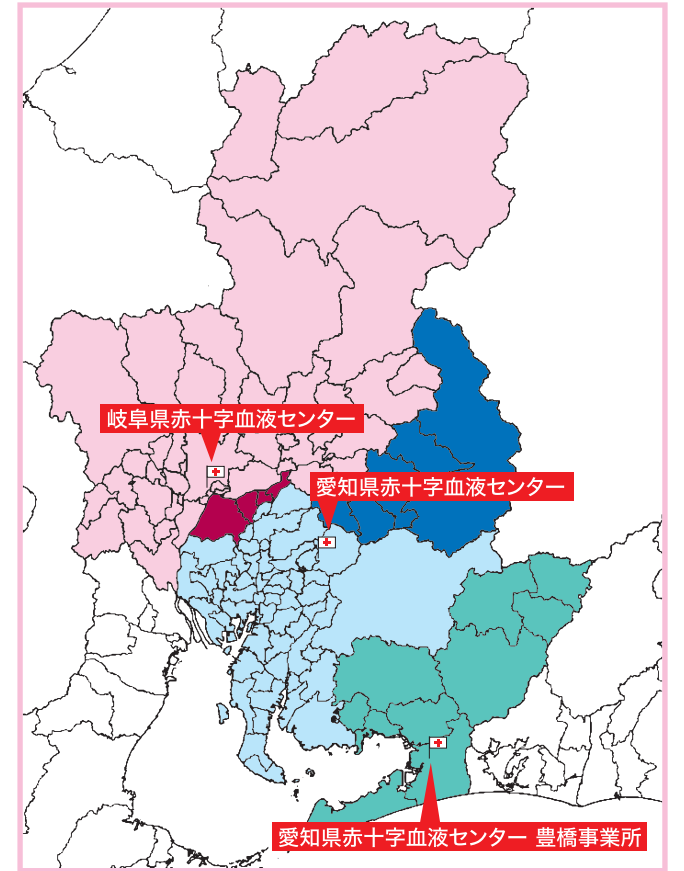
□ 広域需給体制に伴う県境を越える供給

Supplying across prefectural boundaries due to wide-area supply and demand regime

平成24年4月1日より広域事業運営へ移行し、東海北陸ブロック血液センターが設置されました。それに伴い、供給エリア設定の検討調査を行い、平成25年4月1日より西尾張地域の一部(一宮市・江南市・扶桑町・犬山市北部)を岐阜県赤十字血液センターから、東濃地域(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市・中津川市)を愛知県赤十字血液センターから、供給を行うことに変更しました。これにより、対象地域の医療機関への血液製剤配送時間の短縮が可能となりました。

供給エリア

- ・愛知県赤十字血液センター
- ・岐阜県赤十字血液センター
- ・愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所



□ 令和2年度 供給実績 Supply results

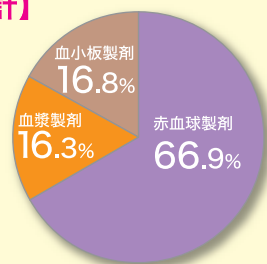
◆愛知県内の供給実績

【供給エリア】

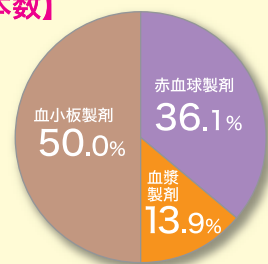
	1単位製剤	2単位製剤	成 分					本数合計	換算本数 (単位:200mL換算)
			4単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
赤血球製剤	7,692	165,653	-	-	-	-	-	173,345	338,998
血漿製剤	1,194	17,461	23,435	-	-	-	-	42,090	129,856
血小板製剤	-	1	-	1,537	35,867	4,011	2,108	43,524	468,682
合 計	8,886	183,115	23,435	1,537	35,867	4,011	2,108	258,959	937,536

(単位:本)

【本数合計】



【換算本数】



・他センターへの需給調整本数は含まない。
・単位換算数:赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
・血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。

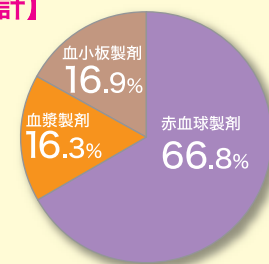
◆愛知県赤十字血液センターからの供給実績

【供給エリア】

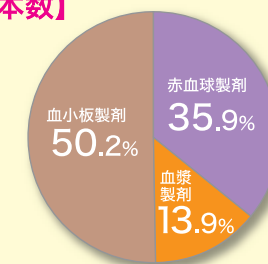
	1単位製剤	2単位製剤	成 分					本数合計	換算本数 (単位:200mL換算)
			4単位	5単位	10単位	15単位	20単位		
赤血球製剤	6,850	157,169	-	-	-	-	-	164,019	321,188
血漿製剤	1,201	15,950	22,817	-	-	-	-	39,968	124,369
血小板製剤	-	1	-	1,504	33,712	4,099	2,195	41,511	450,027
合 計	8,051	173,120	22,817	1,504	33,712	4,099	2,195	245,498	895,584

(単位:本)

【本数合計】



【換算本数】



・血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。

医薬情報活動 Pharmaceutical information activities

- (1)医療機関への情報提供
- 輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を愛知県赤十字血液センター供給エリア内の医療機関へ配付しました。
また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を行い、情報提供しました。
- お知らせ
- | 発行年月 | 内 容 |
|----------|-----------------------------------|
| 令和2年 8 月 | 輸血用血液製剤の添付文書改訂のお知らせ |
| 令和3年 3 月 | 日本赤十字社におけるTRALI及びTACOの評価基準変更のお知らせ |
- 輸血情報
- | 発行年月 | 内 容 |
|----------|--|
| 令和2年 4 月 | 輸血用血液製剤の診療報酬及び薬価・医薬品コード・レセプト電算コード等について-令和2年4月現在- |
| 令和2年 5 月 | 新型コロナウイルスと輸血に関する現時点での知見及び日本赤十字社の安全対策について |
| 令和2年 8 月 | 「輸血療法の実施に関する指針」の一部改正について |
| 令和2年 9 月 | 輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例-2019年- |
| 令和2年 9 月 | 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用-2019年- |
| 令和2年 9 月 | 輸血による細菌感染について(血小板製剤輸血実施時の注意点) |
- (2)輸血副作用の情報収集
- 59件(22施設)
- (3)選及調査の実施
- 複数回献血者の感染症マーカーの陽転化 85件 献血後情報 13件
- (4)輸血業務担当者連絡会の開催
- | 開催年月日 | 内 容 |
|--------------------------|--|
| 令和3年 1 月16日
(オンライン開催) | 「献血者からみたHEV陽性者の解析」(講演)
「学術情報・供給課 供給係からのお知らせ」
「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」 |
- (5)医療機関での説明会の実施
- ・血液製剤の取り扱い/輸血副作用/危機管理…………… 18回
・HLAが関連する輸血の臨床について…………… 1回
- (6)大学生、専門学校生への講義(輸血関連)
- ・大学(臨床検査技師)…………… 1校
・大学(養護教諭)…………… 1校
・専門学校(臨床工学技士)…………… 1校

骨髄バンク事業 Marrow Donor Program

骨髄バンク事業は、国(=厚生労働省)主導のもと、日本骨髄バンクが主体となり、日本赤十字社および地方自治体の協力により行われている公的事業です。日本骨髄バンクは骨髄移植・末梢血幹細胞移植のコーディネート等を行い、日本赤十字社は造血幹細胞提供支援機関として、ドナー登録及びHLA検査等を行っています。都道府県・保健所を設置する市・特別区は保健所を窓口として協力体制をとっています。



・平成30～令和2年度 骨髄バンク登録者数

平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1,894	1,845	1,391	5,130

・令和2年度 施設別骨髄バンク登録者数

愛知県赤十字血液センター	栄献血ルーム	岡崎献血ルーム	大須献血ルーム	献血ルームタワーズ20	献血ルームゲートタワー26	豊田献血ルーム	豊橋事業所	移動採血バス	保健所	合 計
29	220	52	30	482	346	39	42	131	20	1,391

- ・骨髄提供希望者登録状況
- 愛知県 21,740人(令和3年3月31日現在)

愛知県の骨髄ドナー登録受付施設 (令和3年3月31日現在)		
名 称	電話番号	受 付 時 間
愛知県赤十字血液センター	0561-85-2037	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
愛知県赤十字血液センター豊橋事業所	0532-32-1331	月～土(祝日・12/29～1/3を除く) 9:00～11:00、13:30～16:00
献血ルーム タワーズ20	052-571-1002	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
献血ルーム ゲートタワー26	052-589-2229	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～18:00
栄献血ルーム	052-242-7030	年中無休(12/29～1/3を除く) 10:00～17:00
大須万松寺献血ルーム	052-251-7161	年中無休(12/29～1/3を除く) 11:00～12:00、14:30～18:00
豊田献血ルーム	0565-35-4480	水～月(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
岡崎献血ルーム	0564-52-1800	土～木(12/29～1/3を除く) 10:00～12:00、14:30～17:00
一宮保健所	0586-72-0321	水 10:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
春日井保健所	0568-31-2189	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
半田保健所	0569-21-3342	水 13:00～15:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
衣浦東部保健所	0566-21-4778	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)
豊川保健所	0533-86-3177	火 9:00～11:00(予約制) (祝日、12/29～1/3を除く)

ひとりでも多くの方に、献血が身近になるように。

血液センターでは、広く献血にご協力いただくことと、血液事業について多くの人にご理解いただくことを目的に、さまざまな広報活動を展開しています。

□ 広報活動 Public Relations



公式ホームページ

血液センターのさまざまな情報を、ホームページを利用してお知らせしています。献血会場のご案内をはじめ、キャンペーンのお知らせや血液についての知識など、充実した内容で情報発信を行っています。携帯電話、スマートフォンからもアクセスが可能で、手軽に知りたい情報をいつでも入手できます。ぜひ一度ご覧ください。

■ ホームページアドレス
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>



公式SNS

フェイスブック、Twitter、ゲートタワー26専用LINEを利用して、キャンペーンやイベントのお知らせをはじめ、献血に関する様々な情報を積極的かつリアルタイムにお伝えします。



■ 公式ページアドレス
<https://www.facebook.com/aichi.kenketsu>



つながる♥つなげる
献血スタイル
 つくりませんか？自分だけの「献血の日」



子供向け献血啓発動画

青少年(特に将来の協力基盤となる小中学生)に向けた、献血・血液のいろはをわかりやすく10分ほどのアニメーションで作成しました。(令和元年度)動画はこちらからご覧いただけます。



■ 「なるほど献血!～教えて博士!献血はなぜ必要!～」
<https://www.youtube.com/watch?v=GqgzEWDyYKw>



キャンペーンイベントの開催

歌や演奏、クイズなど楽しいステージイベントを通して広く皆様に対して、献血の普及啓発を行っています。献血者が減少する時期にあわせて、年に数回開催。学生ボランティアが中心となって運営を行い、献血を盛り上げます。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止又は規模を縮小(ステージイベントの中止等)し、感染対策を徹底のうえ、実施しました。

夏休み親子血液教室

愛知県との共催で「親子で学ぶ 夏休み親子血液教室」を開催しています。血液についての講義や血液センターの見学、希望者を対象に血液型の判定を行います。親子で献血の必要性を学ぶとともに、いのちや健康、助け合いの大切さについて考える内容となっています。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止しました。



写真は令和元年度の様子です。

血液センター見学会

献血に対する知識と理解を深めていただくため、血液センター内の見学会を実施しています。

この見学会では、実際に製剤や検査の様子を見ていただき、献血された血液が輸血用血液に至るまでの工程を、わかりやすく説明しています。

毎年、多くの方がご来訪され、好評をいただいています。見学会は予約が必要です。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、見学の受入を見合わせました。



写真は令和元年度の様子です。

血液・献血セミナー

小学校から大学、専門学校までの生徒・学生の皆様に献血のことを知ってもらい、身近に感じてもらうため、職員を派遣して「血液・献血セミナー」を行っています。講義やDVD鑑賞で、血液のこと、献血のことを学んでいただくとともに、いのちの大切さ、助け合うことの大切さを考える内容となっています。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、セミナーの実施を見合わせました。

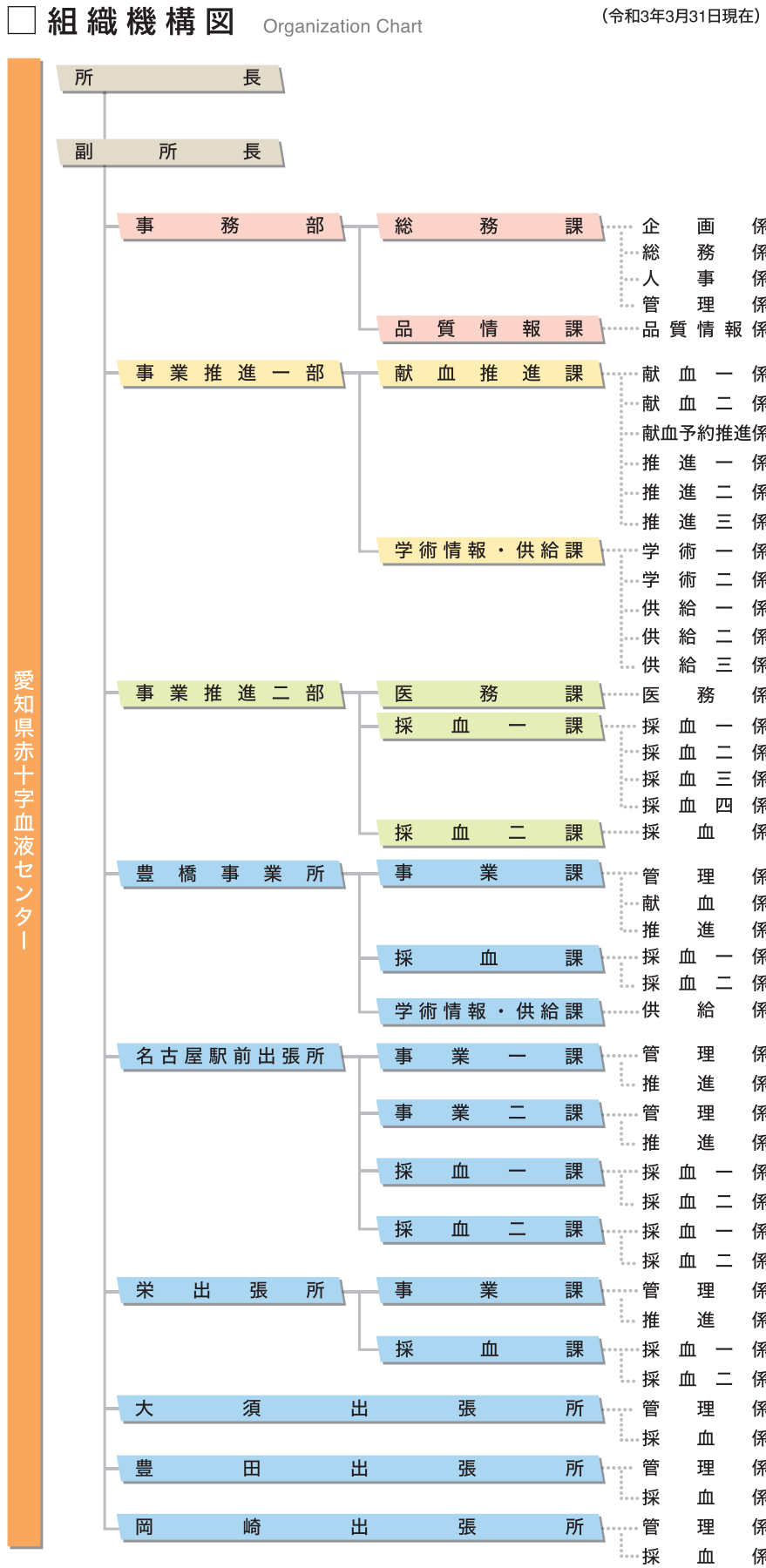


写真は令和元年度の様子です。

Organization

組 織

血液事業をより円滑に推進するためには、その体制づくりが重要なポイントになります。血液事業に直接関係する体制や施設・設備を充実するとともに、それをサポートする間接部門も重要視し、組織としての総合的な力を発揮しながら血液事業の現在と将来を常に見つめています。



愛知県赤十字血液センター

□ 愛知県赤十字血液センター Japanese Red Cross Aichi Blood Center (令和3年3月31日現在)

施設 Facility

■所在地 瀬戸市南山口町539番地3
■敷地面積 63,594.57m²
■建物 (本館・北館)
構造／鉄筋コンクリート一部鉄骨造
地上4階・塔屋1階
延面積／9,783.21m²
■附属建物 大型車庫、合併処理槽機械室

車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	広報車	献血運搬車	器材運搬車等	乗用車	計
8	3	4	4	30	1	10	60



□ 愛知県赤十字血液センター 豊橋事業所 Japanese Red Cross Aichi Blood Center Toyohashi Branch (令和3年3月31日現在)

施設 Facility

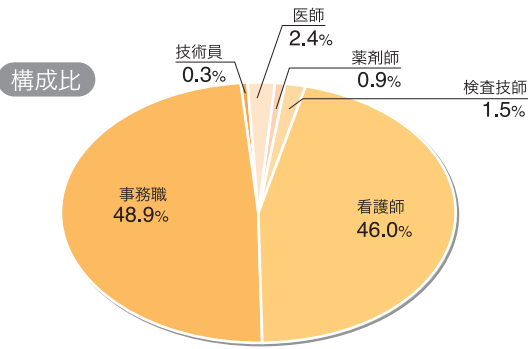
■所在地 豊橋市東脇三丁目4番地1
■敷地面積 3,014.07m²
■建物 構造／鉄筋コンクリート造
地上3階・塔屋1階
延面積／1,694.00m²
■附属建物 車庫

車両台数 Number of Vehicle

献血バス	検診車	送迎車	献血運搬車	乗用車	計
3	1	0	5	3	12



愛知県赤十字血液センター職員数 Number of Staff



職種	医師	薬剤師	検査技師	看護師	事務職	技術員	計
人員	8	3	5	154	164	1	335
構成比 <%>	2.4	0.9	1.5	46.0	48.9	0.3	100

※パートタイマー含む

Actual result

活動実績

時代の変化とともに、血液事業も変化しています。献血協力や医療機関のニーズに対応した活動を展開し、新しい歴史を積み重ねています。

新たな歴史を積み重ねて着実な歩み続ける。

昭和37年の開設以来、輸血を必要とする患者さんのため
時代とともに、着実な歩みを続けています。

沿革 History

	愛知の動き	全国の動き
1960	昭和37.10 名古屋第一赤十字病院内に愛知県赤十字血液銀行を開設 昭和39.12 愛知県赤十字血液センターと名称を改める 昭和41. 6 採血出張所を開設(豊橋・岡崎・一宮・半田・瀬戸) 昭和43. 1 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・愛知県・三重県)の調整センターとして保存血液の需給調整を開始 昭和43.11 豊橋採血出張所を廃止し、愛知県赤十字血液センターの支所として新社屋を建設(豊橋市橋良町)、愛知県豊橋赤十字血液センターを開設、業務開始 昭和44. 8 愛知県Rh(一)友の会を結成	昭和27.4 日本赤十字社血液銀行東京業務所開設 昭和31.6 「採血及び供血あっせん業取締法」公布 昭和35.8 「薬事法」公布 昭和39.8 「献血の推進について」閣議決定 昭和44 民間商業血液銀行の買血による輸血用血液の供給中止
1970	昭和45. 4 血液低比重者の諸検査開始 昭和46. 3 日赤愛知県支部との合同庁舎(名古屋市中区三の丸)に移転、業務開始 昭和46. 4 支所として運営されてきた愛知県豊橋赤十字血液センターが豊橋赤十字血液センターとして独立 県内の預血業務が全廃され献血一本化となる 昭和48. 4 名古屋市内及び尾張部について輸血用血液の直配開始 昭和49. 4 血液代金自己負担金給付制度実施 昭和52. 4 一宮出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和54. 4 採血が瓶採血からビニールバック採血に切替る 昭和54.11 開設以来、献血者150万人達成	昭和49 民間商業血液銀行が預血制度廃止(献血100%体制確立) 昭和50 日本民間放送連盟主催「第1回はたちの献血」キャンペーン開始
1980	昭和57. 2 分室を中区丸の内三丁目5番地10号住友商事丸の内ビル9階に新設 昭和57. 4 全国一斉に献血手帳の様式一部改正(供給欄削除) 献血者全員に血液型及び生化学検査結果の通知を開始 昭和57. 6 半田出張所を廃止し、移動採血車の定期巡回場所に改める 昭和59. 4 東海北陸7県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県)の基幹センターとして輸血用血液の需給調整及び技術指導開始 昭和61. 3 事務所棟増築完成(豊橋赤十字血液センター) 昭和61. 4 名古屋市中区錦三丁目22番14号(マルニシビル6階)に栄出張所(献血ルーム)を開設 愛知県学生献血連盟発足 東三河地域に血小板等の特殊血液のみ直配実施 昭和62. 1 名古屋市熱田区一番に白鳥出張所(献血車基地)を開設 昭和62. 3 瀬戸市南山口町に社屋新築移転、業務開始(愛知県赤十字血液センター) 昭和62. 4 名古屋市中区三の丸旧社屋に三の丸出張所(献血ルーム)を開設 昭和62. 8 西三河部への輸血用血液の直配開始 昭和62. 9 第11回日本血液事業学会総会を愛知県勤労会館で開催 昭和63. 7 輸血用血液の全面直配開始(豊橋赤十字血液センター) 昭和63.10 名古屋市千種区星が丘元町1502番地(第一星ヶ丘ビル2階)に星ヶ丘出張所(献血ルーム)を開設 平成 1. 1 愛知県内の献血者延500万人達成	昭和58.6 日本赤十字社血漿分画事業開始 昭和61.4 「採血及び供血あっせん業取締法」一部改正に伴う新採血基準採用(400mL、成分採血導入) 昭和61 HIV抗体検査及びHTLV-Ⅰ抗体検査を開始 平成1 HBc抗体、HCV抗体検査開始
1990	平成 2. 3 豊橋市東脇に社屋新築移転、業務開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 2. 6 名古屋市中区栄三丁目15番地33号(栄ガスビル9階)に栄出張所(献血ルーム)を移転開設 平成 3. 2 岡崎市長生通西2丁目20番地(シビコ5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を開設 平成 3.12 血液センター組織に地方骨髓データセンター設置 平成 4. 6 名古屋市中村区名駅四丁目26番地7号(名駅UFビル5階)に名古屋駅前出張所(献血ルーム)を開設 平成 4.11 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 5. 4 赤血球M・A・P「日赤」の調整供給開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 5.10 三の丸出張所を名古屋市東区白壁一丁目50番地(愛知県白壁庁舎内)に白壁出張所(献血ルーム)として移転開設 平成 6. 1 自己血輸血協力開始 平成 6. 3 愛知県内血液センター需給計画委員会設置 平成 6. 4 輸血用血液への放射線照射協力開始(愛知県赤十字血液センター) 平成 6. 9 輸血用血液への放射線照射協力開始(豊橋赤十字血液センター) 平成 7. 3 第43回日本輸血学会総会を名古屋国際会議場で開催 平成 8.10 白壁出張所の検査部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9. 4 東海北陸8県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)の基幹センターとして、輸血用血液の需給調整及び技術指導開始豊田市若宮町一丁目57番地1(A館 T-FACE9階)に豊田出張所(献血ルーム)を開設 平成 9. 7 白壁出張所の供給部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成 9.10 白壁出張所の製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 平成11. 4 県内血液センター一体運営開始、これに伴い、豊橋赤十字血液センターを愛知県豊橋赤十字血液センターに改称し、検査業務を愛知センターに集約刈谷市南桜町一丁目73番地(OTAビル4階)に刈谷出張所(献血ルーム)を開設	平成2 民間製薬会社による有償採漿中止 平成 4. 1 赤血球M・A・P「日赤」の製造承認許可 平成 5. 8 「自己血輸血協力要綱」作成 平成 7. 4 献血表彰制度の一部改正と献血換算回数変更 平成 7. 7 統一した献血申込書及び問診票導入 平成10. 6 放射線照射輸血用血液が国に認可され供給開始 平成11. 4 血小板成分献血を除き、献血年齢の上限が満64歳から満69歳に引上げ 平成11. 5 献血者情報の全国一元管理システムが稼働

	愛知の動き		全国の動き
1990	平成11. 8	名古屋市熱田区金山町1-202(愛和ビル[メガネプラザビル]7階)に金山出張所(献血ルーム)を開設 平成11.11 愛知県赤十字血液センター北館完成	平成11.10 HTLV-Ⅰ抗体検査結果が異常な場合、希望者への通知を開始。これに伴い献血申込書の内容一部変更 核酸増幅検査(NAT)実施の輸血用血液を供給開始
2000	平成12. 3 平成13. 2 平成13. 9 平成15. 2 平成15. 3 平成15. 5 平成16. 6 平成17. 1 平成17. 6 平成17.10 平成18. 3 平成18. 9 平成18.10 平成19. 2 平成19. 5 平成20. 1 平成20. 6 平成20. 8 平成21. 4 平成21.11	愛知県赤十字血液センター本館増改築工事完成 名古屋市中村区名駅三丁目28番地12号(大名古屋ビルヂング3階)に名古屋駅前出張所(大名古屋ビル献血ルーム)を移転開設 第25回日本血液事業学会総会を名古屋国際会議場で開催 愛知県内の献血者延1,000万人達成 星ヶ丘出張所(献血ルーム)閉所 岡崎市明大寺町寺東1-1(名鉄東岡崎駅南館5階)に岡崎出張所(献血ルーム)を移転開設 第二次全国統一システム稼働 新鮮凍結血漿貯留保管用冷凍室完成 愛知県赤十字血液センター献血推進本部設置 白鳥出張所(献血バス基地)を閉所し、愛知県赤十字血液センターに移動採血部門を集約 愛知県豊橋赤十字血液センターの製造部門を愛知県赤十字血液センターに集約 複数回献血クラブ「四季桜の会」の設立 白壁出張所(献血ルーム)の閉所 名古屋市中区大須三丁目30-40(大須万松寺ビル1階)に大須出張所(献血ルーム)を開設 岐阜県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血小板)の初流血除去開始 全血採血の初流血除去開始 静岡県赤十字血液センターとの検査業務集約 三重県赤十字血液センターとの検査業務集約 成分採血(血漿)の初流血除去開始 岐阜県赤十字血液センターとの製剤業務集約 製剤ラベルの変更 三重県赤十字血液センターとの製剤業務集約 第33回日本血液事業学会総会(第20回国際輸血学会アジア部会併設)を名古屋国際会議場で開催	平成14. 4 HCV抗体陽性者への通知基準の変更 平成14. 7 薬事法及び採血及び供血あつせん業取締法の一部を改正する法律の公布 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)公布 平成14. 8 有償採血の禁止 平成15. 7 「薬事法」の一部改正及び「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(新血液法)施行 平成16. 1 安全対策に対する日本赤十字社の取組み(8項目) 平成16.10 献血受付時の本人確認実地開始 日本赤十字社血液事業本部設置 平成17. 4 改正薬事法施行 平成17. 6 問診による欧州渡航歴の献血制限開始 平成17. 7 6か月以上貯留保管した新鮮凍結血漿「日赤」(FFP)の供給開始 平成18. 3 タッチパネル方式による問診回答方式の導入 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤製造開始 平成18. 8 人免疫グロブリン製剤「日赤ボリグロビン」販売開始 平成18. 9 成分採血由来新鮮凍結血漿保存前白血球除去製剤出庫開始 平成18.10 献血手帳の磁気カード化開始 平成19. 1 全血採血由来保存前白血球除去製剤製造開始 平成19. 8 全血採血由来保存前白血球除去血漿製剤供給開始 平成19.11 血小板製剤の有効期間(採血後4日間)変更 平成20. 7 初流血除去を実施した成分採血由来製剤新鮮凍結血漿「日赤」(FFP-5)の供給開始 平成21. 3 糖尿病関連の検査(グリコアルブミン検査)開始 平成21.10 血漿分画製剤の販売名、包装表示等の変更
2010	平成22. 5 平成23.10 平成23.11 平成24. 3 平成24. 4 平成25. 4 平成26. 4 平成26. 7 平成29. 4	第58回日本輸血・細胞治療学会総会を名古屋国際会議場で開催 JRセントラルタワーズ20階に名古屋駅前出張所を移転開設 愛知県赤十字血液センター製造棟完成 静岡県赤十字血液センターとの製剤業務集約 広域事業運営体制開始 製造棟施設が「東海北陸ブロック血液センター」として業務開始 愛知県豊橋赤十字血液センターを愛知県赤十字血液センター豊橋出張所に改める 県境を越える供給エリアの変更開始(岐阜県東濃地域⇔愛知県西尾張地域) 豊橋出張所を豊橋事業所に改める 第50回献血運動推進全国大会を愛知芸術文化センターで開催 金山出張所と刈谷出張所の閉所 JRゲートタワー26階に名古屋駅前出張所を拡張	平成22. 1 英国滞在歴に関する献血制限の緩和 平成22. 2 販売名変更代替新規格承認品目濃厚血小板-LR「日赤」、濃厚血小板HLA-LR「日赤」、照射濃厚血小板-LR「日赤」、照射濃厚血小板HLA-LR「日赤」の製造・供給開始。 新鮮凍結血漿-LR「日赤」の製造開始。 平成22.12 血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知対象者の拡充 平成23. 4 採血基準の改正(男性に限り400mL献血が可能な方の年齢の下限を、「18歳」から「17歳」に引き下げ、男性に限り血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を、「54歳」から「69歳」に引き上げ。 平成26. 6 血液事業情報システム導入 平成26. 8 特殊製剤国内自給向上対策事業の実施 個別核酸増幅検査(NAT)の導入 平成27. 3 日本赤十字社による血漿分画製剤の販売終了 平成28. 4 ALT検査による製品除外基準の変更 平成28. 9 照射洗浄血小板-LR「日赤」、照射洗浄血小板HLA-LR「日赤」の供給開始 平成30. 9 新鮮凍結血漿の融解後使用期限延長 平成30.10 複数回献血クラブの会員サイトを一新し、愛称を「ラブブラッド」に統一して運用開始
2020	令和 2. 8	愛知県内の献血者延1,500万人達成	令和 2. 4 新型コロナウイルス感染拡大を受けて、全国に緊急事態宣言が発出される。「緊急事態宣言下でも献血は必要です」として継続した献血を呼びかけ 令和 2. 4 地域、日時を限定して「新型コロナウイルス感染の抗体検査キットの評価に関する研究」への参加協力のお願いを開始 令和 2. 8 全国一斉にE型肝炎検査(HEV NAT)を導入 令和 2. 9 血液法改正に伴い健康診断及び問診の方法が定められ、健康診断基準として血圧、脈拍、体温の基準が示される 令和 2. 9 全血採血の採血前検査方法を指先穿刺に変更※献血ルームは順次 令和 2.11 献血者顕彰規程を改正し、記念品贈呈を行う献血回数や記念品の選択制を導入 令和 2.11 問診における癌の問診判断基準を緩和し、がん薬物療法、放射線療法、がん免疫療法等の治療を受けていても、治療終了後、再発なく5年経過すれば献血可となる

Actual result

幅広い活動で献血協力を呼びかける。

令和2年度に行った主な活動内容です。
新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大規模なイベントは実施できなかったものの、感染対策を徹底したうえで血液の確保に向けて広く呼びかけを行いました。

□ 日誌 Diary



■サマー献血キャンペーン



■愛知県内の献血者延1500万人達成

4月～令和3年3月
みんなの献血
1日～21日
スプリング成分献血キャンペーン
(ラブラッド会員限定)

April

14日 世界献血者デー

June

8月 【中止】夏休み親子血液教室(瀬戸)
8月 【中止】夏休み親子血液教室(豊橋)
8月 【中止】夏休み親子血液教室(武豊町)
8月 愛知県内の献血者延1500万人達成
5～7日 官庁街献血[県庁西庁舎] 献血実績:380名
23日 東海北陸ブロック学生サマー献血キャンペーン[名古屋水族館JETTY] 献血実績:31名

August



■クリスマス献血キャンペーン



■献血応援キャンペーン

12月～3月 400mL複数回献血キャンペーン 第二弾
14日～31日 献血応援キャンペーン(SNSキャンペーン)
20日 全国学生クリスマス献血キャンペーン
(イオンモール新端橋店) 献血実績:84名
20日 全国学生クリスマス献血キャンペーン
(イオン豊川店) 献血実績:43名

December

2月～3月 東海北陸7県全血献血予約キャンペーン 第一弾
1日～15日 献血(愛知県内)1,500万人達成記念キャンペーン

February



■東海北陸7県全血献血予約キャンペーン



■献血(愛知県内)1500万人達成記念キャンペーン



■10代夏の献血キャンペーン



■第9回献血ポスターコンペティション



■第9回献血ポスターコンペティション
愛知県赤十字血液センター所長賞



■400mL複数回献血キャンペーン

1日～31日 愛の血液助け合い運動月間
7月～9月 10代夏の献血キャンペーン
7月～9月 第9回献血ポスターコンペティション
7月～11月 400mL複数回献血キャンペーン 第一弾
7月下旬 【中止】愛知県献血運動推進大会

July



■官庁街献血



■卒業献血キャンペーン

1日～30日 オータムキャンペーン

November

1月～2月 はたちの献血キャンペーン
1月～3月 卒業献血キャンペーン
5日～7日 官庁街献血[県庁西庁舎] 献血実績:415名

January



■スプリング献血キャンペーン

3日1日～4日30日 献血予約キャンペーン(献血バス会場限定)
3日1日～4日30日 次回献血予約キャンペーン(献血ルーム限定)
14日 愛知県学生スプリング献血キャンペーン(イオンモール新端橋店)
献血実績:61名
3日22日～4日24日 スプリング全血献血キャンペーン(ラブラッド会員限定)

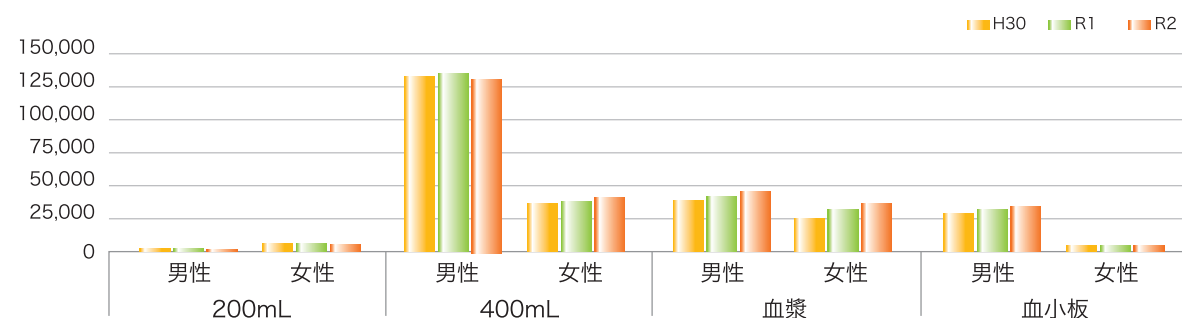
March

統計資料 Statistical Data

献血種別の推移 Blood donation type of transition

	200mL		400mL		血漿		血小板		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
令和2年度	1,346	5,165	130,721	39,431	45,685	35,619	32,649	4,635	210,401	84,850
令和元年度	1,791	5,719	134,281	36,486	42,679	31,065	30,198	3,899	208,949	77,169
平成30年度	1,714	5,869	132,430	35,642	38,280	24,554	28,494	3,828	200,918	69,893

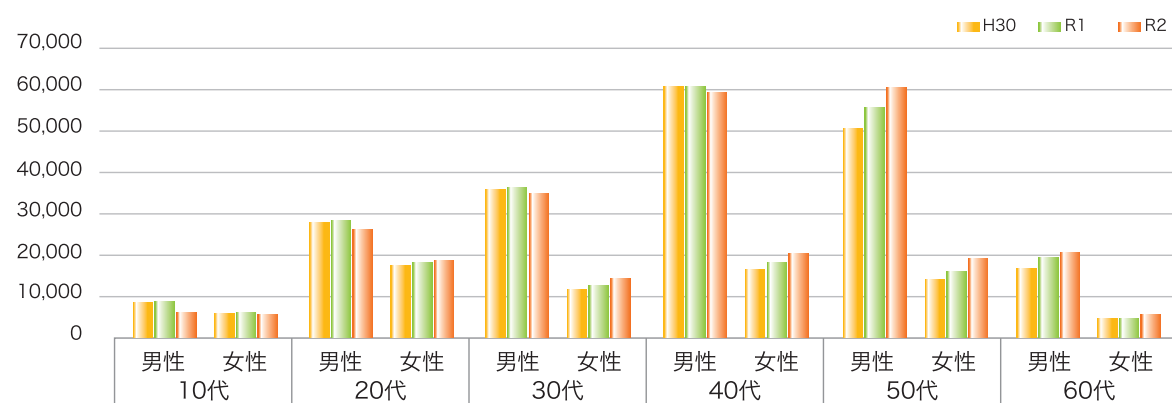
(人)



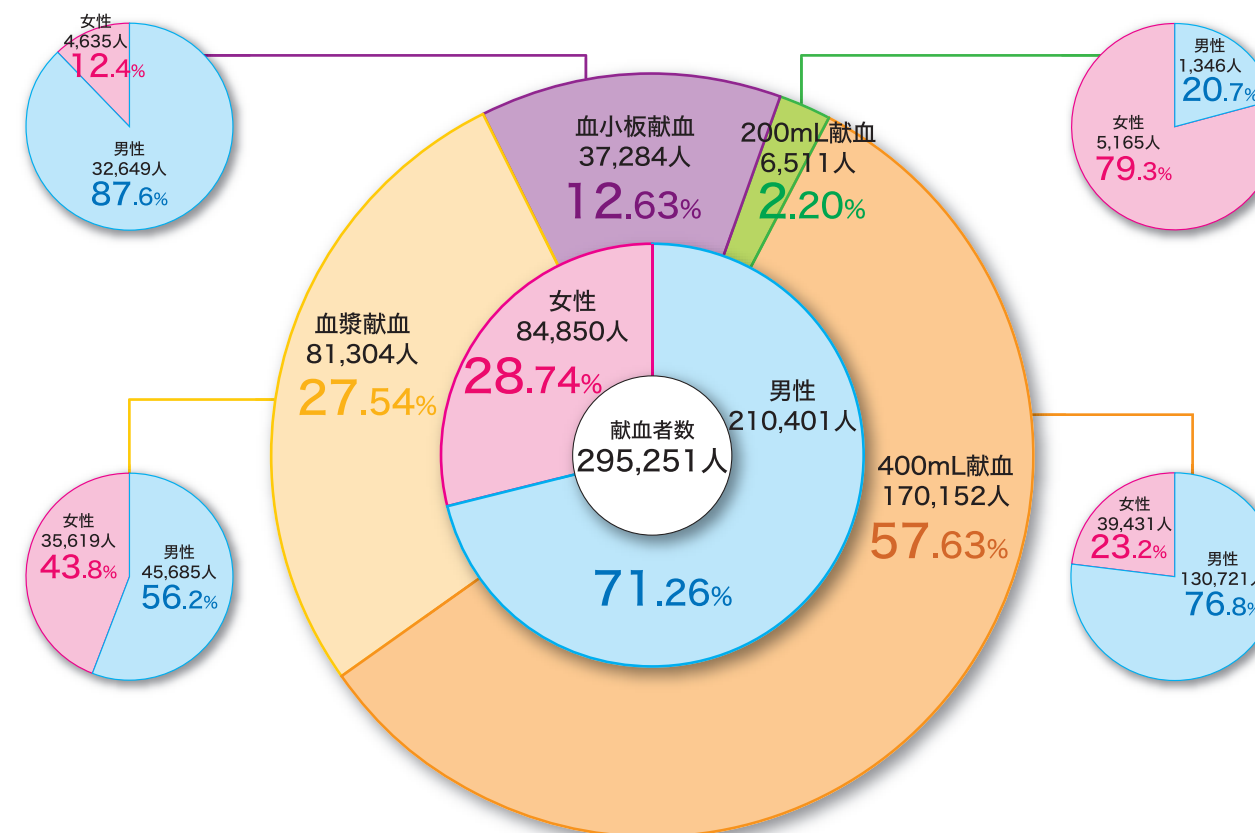
性別及び年代別 Transition by age

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		合 計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
令和2年度	6,595	5,708	26,287	19,457	34,885	14,083	59,802	20,265	61,305	19,799	21,527	5,538	210,401	84,850
令和元年度	8,644	6,052	28,532	18,193	36,100	12,743	60,965	18,515	55,420	16,671	19,288	4,995	208,949	77,169
平成30年度	8,444	5,820	28,043	17,361	35,898	11,569	60,941	16,566	50,733	14,103	16,859	4,474	200,918	69,893

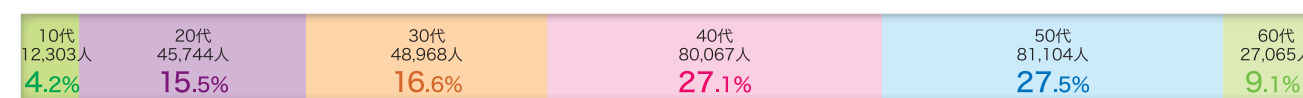
(人)



献血種別献血者数 Blood donation type number of blood donors

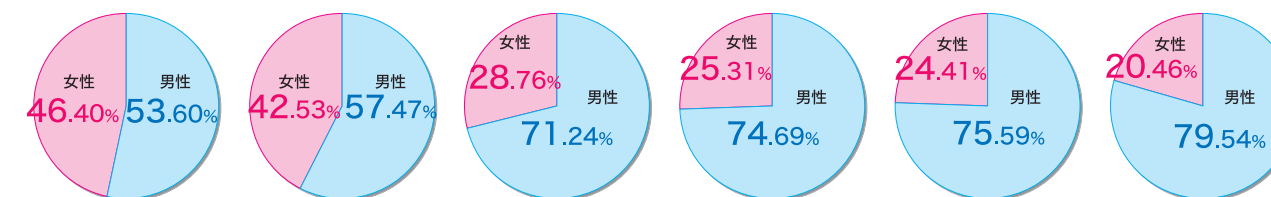


年代別献血者数 Number of blood donors by age



(人)

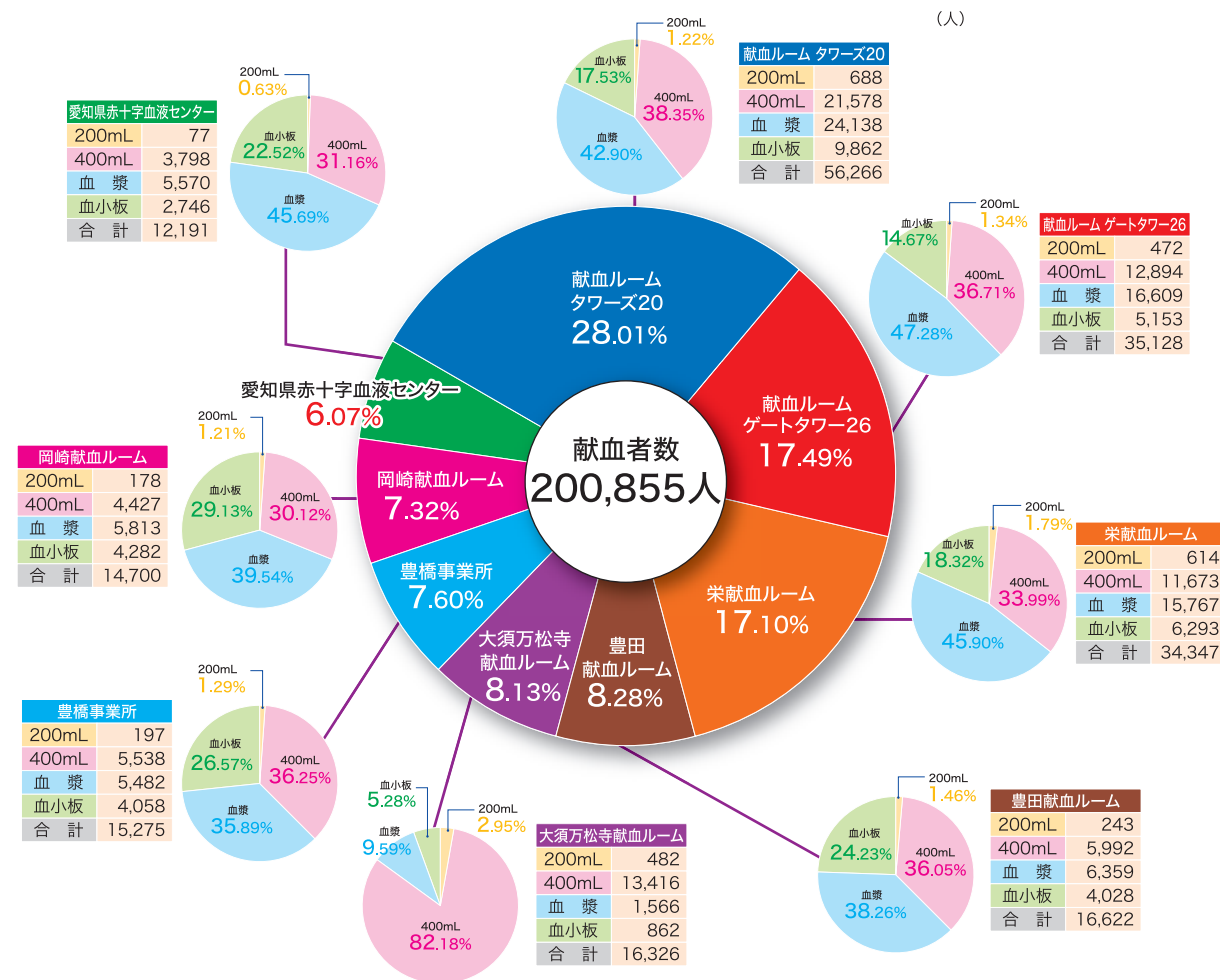
男性	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	918	200mL	124	200mL	77	200mL	84	200mL	99	200mL	44
	400mL	4,730	400mL	18,977	400mL	22,947	400mL	36,970	400mL	35,581	400mL	11,516
	血漿	632	血漿	4,349	血漿	6,694	血漿	12,527	血漿	15,245	血漿	6,238
	血小板	315	血小板	2,837	血小板	5,167	血小板	10,221	血小板	10,380	血小板	3,729
	合 計	6,595	合 計	26,287	合 計	34,885	合 計	59,802	合 計	61,305	合 計	21,527



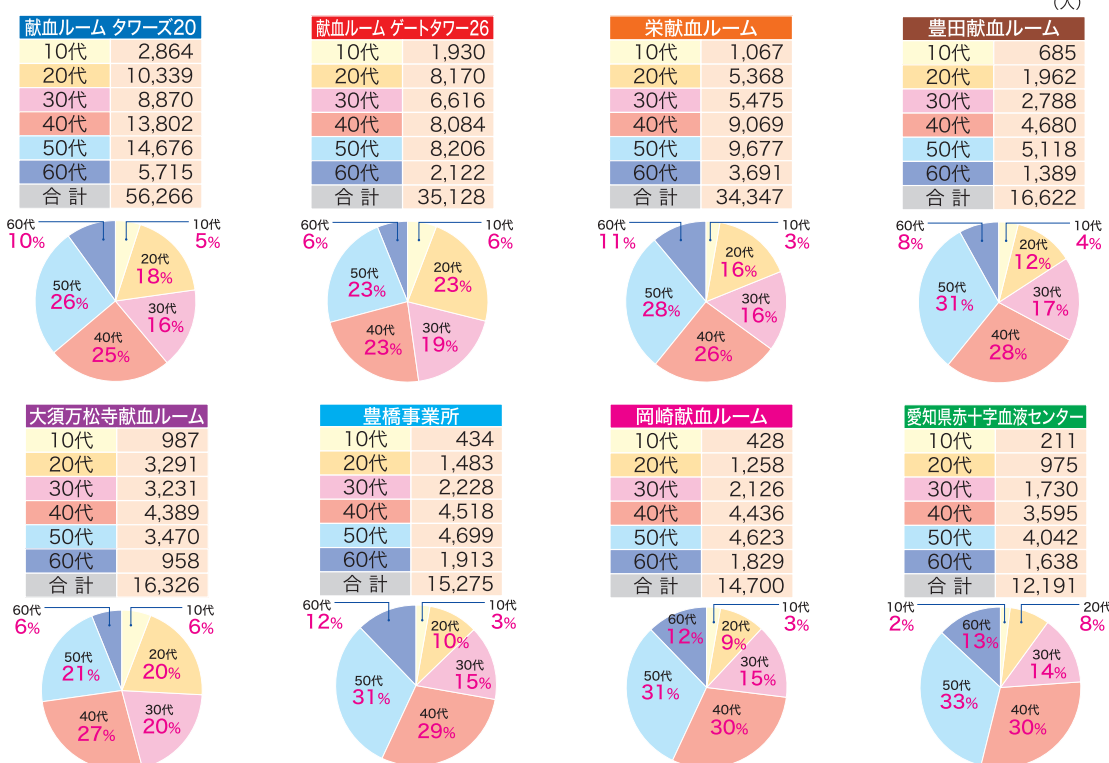
(人)

女性	10代		20代		30代		40代		50代		60代	
	200mL	2,310	200mL	1,154	200mL	442	200mL	664	200mL	504	200mL	91
	400mL	1,870	400mL	9,056	400mL	6,295	400mL	9,730	400mL	9,906	400mL	2,574
	血漿	1,423	血漿	8,413	血漿	6,258	血漿	8,106	血漿	8,546	血漿	2,873
	血小板	105	血小板	834	血小板	1,088	血小板	1,765	血小板	843	血小板	0
	合 計	5,708	合 計	19,457	合 計	14,083	合 計	20,265	合 計	19,799	合 計	5,538

Number of blood donors by blood donation room



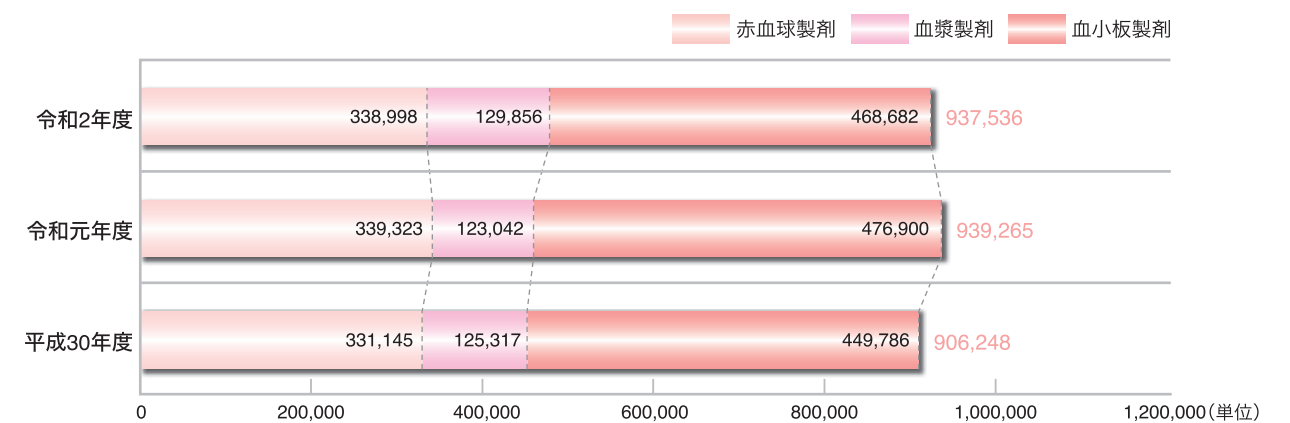
Number of blood donors by age



Supply of Blood Products

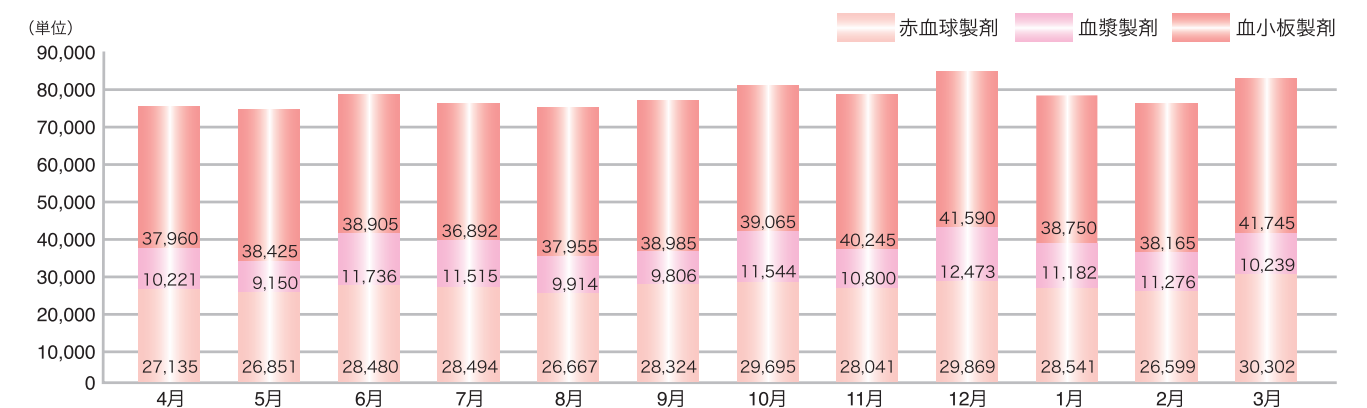
	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合 計
令和2年度	338,998	129,856	468,682	937,536
令和元年度	339,323	123,042	476,900	939,265
平成30年度	331,145	125,317	449,786	906,248

(単位)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
赤血球製剤	27,135	26,851	28,480	28,494	26,667	28,324	29,695	28,041	29,869	28,541	26,599	30,302	338,998
血漿製剤	10,221	9,150	11,736	11,515	9,914	9,806	11,544	10,800	12,473	11,182	11,276	10,239	129,856
血小板製剤	37,960	38,425	38,905	36,892	37,955	38,985	39,065	40,245	41,590	38,750	38,165	41,745	468,682
合計	75,316	74,426	79,121	76,901	74,536	77,115	80,304	79,086	83,932	78,473	76,040	82,286	937,536

(単位)



- ・他センターへの需給調整単位数は含みません。
- ・単位換算数：赤血球製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位として換算したもの。
血漿製剤は200mL献血由来を1単位、400mL献血由来を2単位、成分献血由来を4単位として換算したもの。
血小板製剤は規格により、1単位、2単位、5単位、10単位、15単位、20単位として換算したもの。

Actual result

血液事業に多くの功績があった個人・団体を表彰。

毎年献血に多大なご協力をいただいた皆様に感謝の気持ちを込めて表彰を行っています。
令和2年度も多くの個人・団体の皆様にご協力をいただき功労表彰を授与させていただきました。
血液事業は、こうした多くの方々に支えられています。

献血功労表彰 Recognition

厚生労働大臣表彰状	
	4団体
大府市役所	
株式会社川本製作所 岡崎工場	
株式会社ジェイテクト 刈谷工場	
小牧市役所	
厚生労働大臣感謝状	

	13団体
愛知県小牧警察署	
アンデン株式会社 岡崎工場	
中部電力労働組合 名古屋総支部熱田営業所支部	
東郷町献血推進協議会	
特定医療法人共和会 互助会	
豊田合成株式会社 稲沢工場	
豊田合成株式会社 尾西工場	
永田鉄工株式会社	
日医工株式会社 愛知工場	
日東工業株式会社	
日本電気株式会社 東海支社	
丸和電子化学株式会社	
株式会社ヨシヅヤ JR蟹江駅前店	

献血功労団体 7団体

愛知中央ライオンズクラブ	
株式会社ヤマナカ アルテ新舞子	
株式会社ヨシヅヤ 津島北テラス	
公益財団法人愛知公園協会 海南こどもの国	
公益財団法人名古屋産業振興公社	
大和情報サービス株式会社 アクロスプラザ稲沢	
UDリテール株式会社 リーフワーク稲沢	

日本赤十字社表彰

日本赤十字社社長感謝状(30年以上) 44団体

愛知県一宮建設事務所	
愛知県犬山警察署	
愛知県農業総合試験場	
愛知中部水道企業団	
稲沢緑ライオンズクラブ	
医療法人 資生会 八事病院	
蟹江町役場	
株式会社 足立ライト工業所	
株式会社 高木製作所	
株式会社 東光高岳	
株式会社フジキカイ	
株式会社FUJI 豊田事業所	
株式会社マキタ	
クリオン株式会社 名古屋工場	
JFEスチール株式会社 知多製造所	
住友重機械建機クレーン株式会社 名古屋工場	
全東レ労働組合連合会 東レ労働組合名古屋支部	
大豊工業株式会社	
瀧上工業株式会社	
中央精機株式会社	
中部電力労働組合 岡崎総支部岡崎支社支部	
帝人テクロス労働組合	
愛知県知事感謝状	
○300回献血者 46名	
○献血協力団体 25団体	
アイシン精機株式会社 衣浦工場職長会	
あいち知多農業協同組合	
あいち福祉医療専門学校	
愛知県熱田警察署	
アンデン株式会社	
医療法人 知邑舎 岩倉病院	
尾張旭市消防本部	
株式会社アーレスティ 本社・テクニカルセンター	
株式会社アーレスティ 東海工場	
株式会社エフエスケー	
株式会社キクテック	
株式会社SUBARU 航空宇宙カンパニー	
株式会社中京医薬品	
株式会社 豊田自動織機	
株式会社ナカシマ	
株式会社デンソー デンソー献血会	
株式会社UACJ押出加工名古屋 安城製作所	

東亜合成株式会社 名古屋工場	
豊明市職員互助会	
豊川市役所	
豊田鉄工株式会社	
豊山町役場	
名古屋刑務所	
名古屋税関	
西尾ライオンズクラブ	
西尾東ライオンズクラブ	
日進市役所	
日本キャピラー合同会社	
日本製鉄株式会社 名古屋製鉄所	
日本赤十字社豊明市地区奉仕団	
日本メナード化粧品株式会社 総合研究所	
日本モウルド工業株式会社	
丹羽広域事務組合消防本部	
フタバ産業株式会社 ハツ美工場	
マルマテクニカ株式会社 名古屋事業所	
ミヤマ精工株式会社	
みよし市役所	
森永乳業株式会社 中京工場	
弥富市役所	

○金色有功章(献血100回以上) 374名

○金色有功章(20年以上) 24団体

アイシン高丘株式会社	
愛知県蟹江警察署	
愛知県港警察署	
医療法人 社団以心会 中野胃腸病院	
オーエスジー株式会社 本野ヶ原センター	
大治町役場	
大府市消防本部	
株式会社ジェイテクト 豊橋工場	
株式会社ソシオネクスト	
株式会社トーエネック 教育センター	
株式会社LIXIL 大谷工場	
国土交通省 中部地方整備局名古屋国道事務所	
シーテック労働組合 桜山・大和支部	
新東工業株式会社 一宮事業所	
新東工業株式会社 大治事業所	
中部電力労働組合 岡崎総支部豊田営業所支部	
中部電力労働組合 名古屋総支部港営業所支部	
中部電力労働組合 本店・火力総支部新名古屋火力支部	

東邦ガス株式会社 知多製造部	
トヨタ車体精工株式会社	
富士高分子工業株式会社	
岩倉ライオンズクラブ	
株式会社ヨシヅヤ 佐屋店	
津島ライオンズクラブ	
○銀色有功章(献血70回以上) 498名	
○銀色有功章(15年以上) 10団体	
医療法人 大医会 日進おりど病院	
加藤化学株式会社	
瀬戸市消防本部	
大同大学学生会執行委員会	
トヨタ紡織株式会社 豊橋南工場	
日本デコラックス株式会社	
海部ライオンズクラブ	
イオンリテール株式会社 イオン豊川店	
UDリテール株式会社 MEGAドン・キホーテUNY一宮大和店	
ユニー株式会社 ギャラリーエアビタ知立店	

○支部長感謝状(金枠 10年以上) 12団体

春日井さくらライオンズクラブ	
株式会社アンレット	
株式会社I SOWA	
自衛隊愛知地方協力本部	
中部電力労働組合 岡崎総支部豊田電力センター支部	
DIC株式会社 小牧工場	
豊田市公設地方卸売市場協会	
トヨタ紡織株式会社 大口工場	
布目電機株式会社	
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社	
イオンモール株式会社 mozoワンダーシティ	
名古屋シニアライオンズクラブ	

○支部長感謝状(銀枠 5年以上) 19団体

愛三工業株式会社 豊田工場	
アイシン精機株式会社 安城工場	
愛知学院大学 名城公園キャンパス	
あいち造形デザイン専門学校 高等課程	
太田油脂株式会社	
大府新江工業団地協同組合	
株式会社コアラダイナックス	
株式会社プライド・トゥー・ビー	

株式会社 松尾製作所 阿久比工場	
サンワ株式会社	
シロキ工業株式会社 名古屋工場	
新東工業株式会社 新城事業所	
中央精機株式会社 豊田事業所	
豊川市清掃工場	
トヨタ紡織株式会社 猿投工場	
名鉄バス株式会社 一宮営業所	
イオンモール株式会社 イオンモール常滑	
株式会社にぎわいファクトリー名古屋	
ユニー株式会社 アビタ新守山店	
(順不同・敬称略)	

Actual result

活動実績

□ 複数回献血クラブ「ラブラッド」 Multiple blood donation club

輸血を必要とされる患者の方々は、春夏秋冬の区別なく血液が必要となります。そのため、一年を通じて常に安全な血液を安定的に確保することが求められます。安定確保するために、複数回にわたり献血のご協力をいただける複数回献血クラブの会員が必要です。

平成30年10月29日から献血者へのサービス向上を目的として、愛称名を「ラブラッド」としました。全国の献血ルームや献血バス（一部の会場）においてWeb予約ができるほか、血液検査結果が献血後2～5日程度で確認できるようになりました。また、キャンペーン情報、次回献血可能日などのお知らせが届くほか、予約や献血への協力で貯めたポイントを記念品と交換することができます。さらに、会員サイト上では次回献血可能日の確認、住所等の変更も行え、献血に協力した人、献血に助けられた人の声「ラブラッドな声」をお届けしています。



愛知県赤十字血液センターの登録者数 132,203名(令和3年3月31日時点)

複数回献血クラブ「ラブラッド」会員限定キャンペーン

複数回献血クラブ「ラブラッド」会員限定のキャンペーンを定期的に行っております。

キャンペーン実施内容

実施年月日	実施内容
令和2年 4月1日～21日	スプリング成分献血キャンペーン
令和3年 3月22日～4月24日	スプリング全血献血キャンペーン



スプリング成分献血キャンペーン



スプリング全血献血キャンペーン



Blood Centers in Japan

全国の血液センター

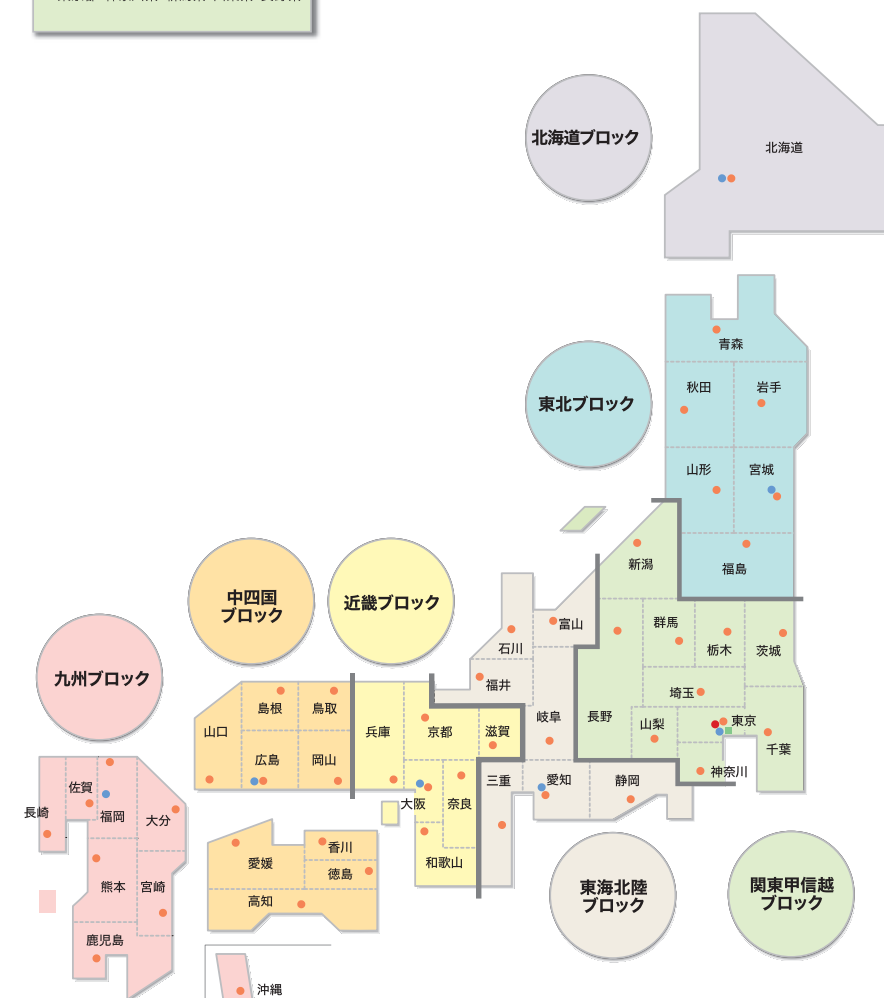
血液センターは全国各都道府県にあります。また全国を7つに分けて各ブロックを形成し、センター間での供給や情報交換を行い、地域に根ざした活動を行っています。

血液製剤を安定してお届けするための全国のネットワーク。

日本赤十字社が血液事業を推進するために、全国に血液センターが整備されています。また各ブロックセンターでは、検査・製剤・需給管理部門の業務を行っています。

- 日本赤十字社 血液事業本部(1) (令和3年3月31日現在)
- 中央血液研究所(1)
- ブロック血液センター(7)
- 地域血液センター(47)

北海道ブロック ●北海道ブロック血液センター ●北海道	東海北陸ブロック ●東海北陸ブロック血液センター ●富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県	中四国ブロック ●中四国ブロック血液センター ●鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県
東北ブロック ●東北ブロック血液センター ●青森県・岩手県・秋田県・山形県・福島県・宮城県	近畿ブロック ●近畿ブロック血液センター ●滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県	九州ブロック ●九州ブロック血液センター ●福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県
関東甲信越ブロック ●関東甲信越ブロック血液センター ●茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・新潟県・山梨県・長野県		



Special COVID-19

新型コロナウイルス感染拡大に伴い
外出自粛が呼びかけられる中、献血者
の皆様や医療機関の方々に安心して
いただけるよう、感染対策を徹底し、
活動を行いました。

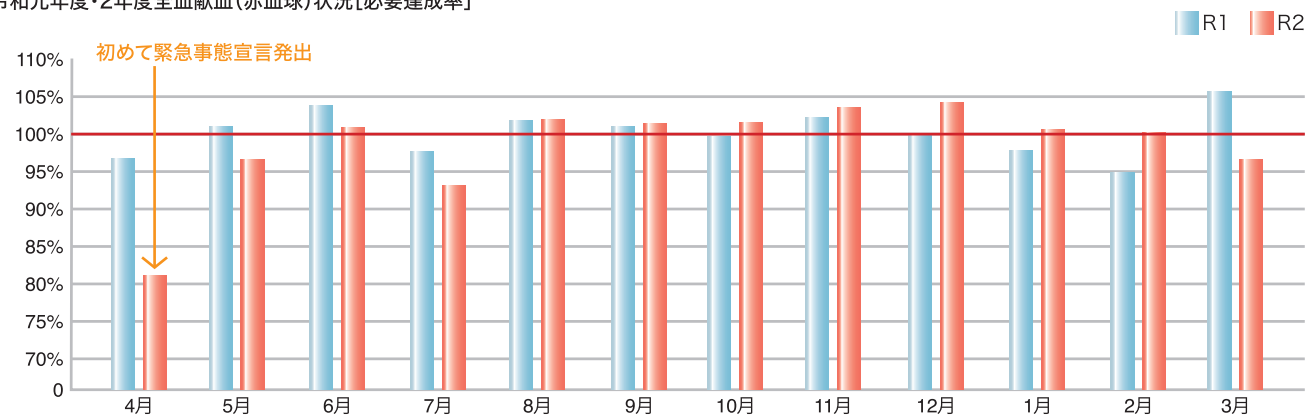
コロナ禍における献血 ～献血は不要不急の外出にあたりません～

令和2年4月、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、愛知県を含む日本全国に「緊急事態宣言」が発出されました。血液センターでは、「緊急事態宣言下でも献血は必要です」と継続的な献血の呼びかけを行いました。解除後も、「献血は不要不急の外出にはあたりません」とメッセージを発信し続け、多くの方々に献血のご協力をいただきました。コロナ禍の1年を振り返ります。

令和2年度献血状況 Survey

初めて緊急事態宣言が発出された令和2年4月は、必要数(計画数)に対して、確保状況が81%と非常に厳しい状況でした。しかしながら、その後皆様のあたたかいご協力により、医療機関へ安定供給することができました。

令和元年度・2年度全血献血(赤血球)状況[必要達成率]

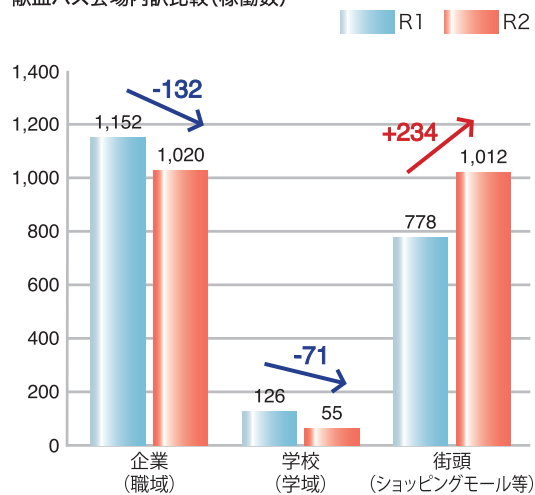


献血バス会場内訳(稼働数)・中止会場数

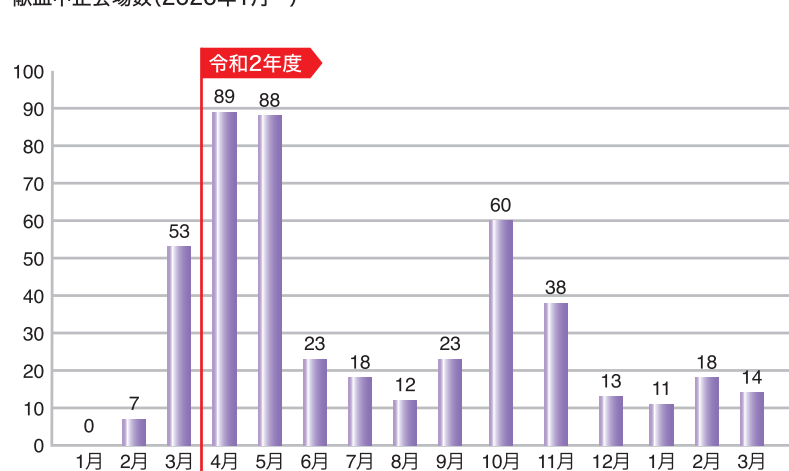
Bloodmobile Donations and Canceled events

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、企業などがリモートワークを取り入れたり、外部からの来訪者に対する制限を行ったこと等により、献血実施を見合わせる団体が相次ぎ、企業(職域)での献血が減少し、学校(学域)での献血も、休校やオンライン授業等により減少しました。そのため、ショッピングモール等を中心に会場を変更することによって、献血会場を確保しました。

献血バス会場内訳比較(稼働数)



献血中止会場数(2020年1月～)



□ コロナ禍における献血協力の呼びかけ

Asking for Donations

キャンペーンイベントは規模を縮小して実施

例年、歌や演奏、クイズなど楽しいステージイベントを実施し献血の普及を行っていますが、令和2年度はコロナ禍の影響を受け、ステージイベントを中止し、マスクの着用、消毒の徹底等感染対策を行ったうえで、献血を呼びかけました。



スプリング献血キャンペーンの様子(3/14実施)

メディアの皆様、行政の皆様による献血協力の呼びかけ

愛知県内のメディアの皆様には、例年お願いしている献血の呼びかけに加え、コロナ禍での献血ご協力者の減少の状況、感染対策の実施状況等を広く発信していただくなど、多くのご協力をいただきました。

また、愛知県、県内各市町村の職員の方々にも、県庁や市町村役場での献血に加え、広報誌に掲載していただく等、献血のご協力について広く呼びかけていただきました。



大須万松寺献血ルームでの取材の様子



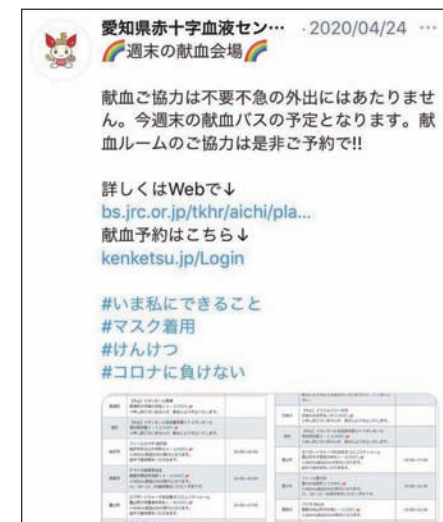
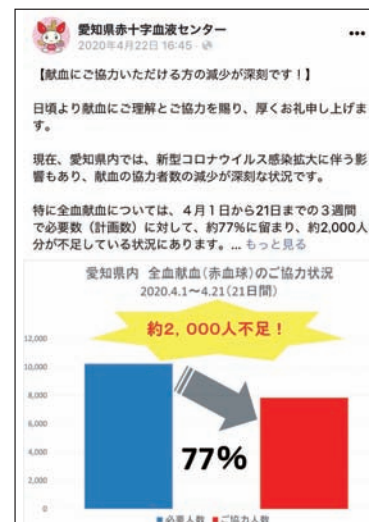
名古屋駅地下街での呼びかけ取材の様子



「広報なごや」市長対談の様子

ホームページやSNSでの献血協力の呼びかけ

ホームページやTwitter、Facebook、LINE等のSNSで頻繁に血液の確保状況や献血バスの配車情報について発信。多くの方に閲覧、拡散いただきました。



□ コロナ禍における対応 COVID-19 Safety Precautions

感染予防を徹底して、皆様のご協力をお願いしています。



【実際の様子】



各所に消毒液を設置
(献血ルーム ゲートタワー26)



受付に飛沫防止パネルを設置
(愛知県赤十字血液センター豊橋事業所)



休憩スペースにも飛沫防止パネルを設置
(岡崎献血ルーム)



職員及び献血者は献血会場ではマスク着用
(愛知県赤十字血液センター(瀬戸市))



定期的に職員が消毒を実施
(献血ルーム ゲートタワー26)



定期的に職員が消毒を実施
(献血ルーム ゲートタワー26)

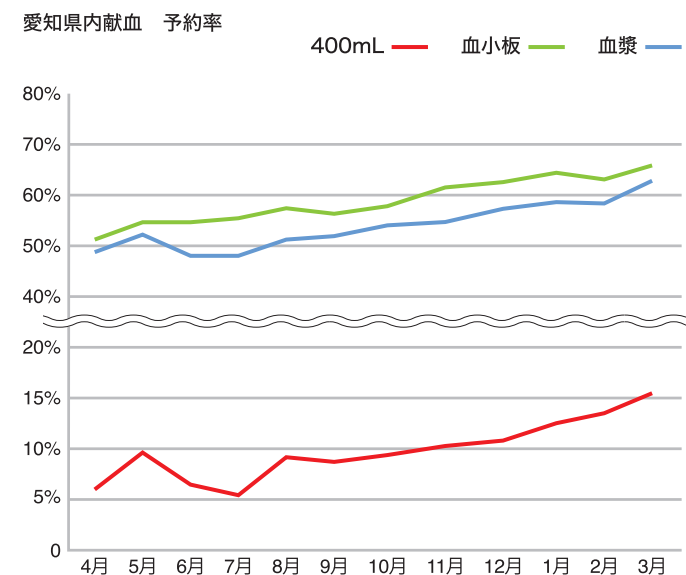
予約献血のお願い

日々必要な血液を安定的に確保するため、そして献血される方が一時期に集中することによる密を避けるため、事前のご予約をお願いします。

〈献血の予約方法〉

- ・献血Web会員サービス「ラブラッド」でのWeb予約
- ・各献血ルームへのお電話での予約

☆Web上で各献血会場の時間帯別、献血種類別の予約状況が確認できる「ラブラッド」での予約がオススメです！



医療機関への訪問

◇血液製剤の供給時

- ・医療機関に入館する際は、院内の訪問ルールに従うとともに、マスクを着用する。退館時は手洗い又は手指消毒を行う。
- ・配送業務帰着後は、手指消毒を徹底し、ハンドル等の手で触れた部分及び血液輸送容器の消毒を行う。



手指消毒の徹底



血液輸送容器の消毒

◇医薬情報活動

- ・オンラインでの活動を取り入れる。
- ・医療機関への訪問時は前述「血液製剤の供給時」と同様の対応を行う。
- ・オンラインによる「輸血情報業務担当者連絡会(令和3年1月16日)」の開催。

「献血者からみたHEV陽性者の解析」(講演)

「学術情報・供給課 供給係からのお知らせ」

「学術情報・供給課 学術係からの情報提供」